

令和3年度水道事業官民連携等基盤強化支援

報 告 書

(水道分野における官民連携推進協議会)

令和4年3月

厚生労働省

医薬・生活衛生局 水道課

目次

1. 水道分野における官民連携推進協議会について	1
1.1. 概要	1
1.1.1. 開催目的	1
1.1.2. 開催日程	1
1.2. 協議会の実施状況	2
1.2.1. 議事進行	2
1.2.2. 会場全景と開会挨拶	4
1.2.3. プレゼンテーション	5
1.2.4. 情報提供	13
1.2.5. 民間事業者によるプレゼンテーション	14
1.2.6. フリーマッチング	16
1.2.7. 閉会の挨拶	16
1.3. 協議会の準備（オンライン開催への対応）	17
1.3.1. 使用したシステム	17
1.3.2. 接続テストの実施	17
2. アンケートの実施と結果のとりまとめ	18
2.1. 事後アンケートについて	19
2.1.1. 事後アンケートの内容	19
2.1.2. 事後アンケートの結果	29
2.2. 総括アンケートについて	51
2.2.1. 総括アンケートの内容	51
2.2.2. 総括アンケートの結果	53
3. 今後の協議会開催に向けた留意事項	62
3.1. 参加者について	62
3.2. 民間事業者によるプレゼンテーションについて	62
3.3. オンライン開催について	62
3.4. 新型コロナウイルス感染症対策について	63

1. 水道分野における官民連携推進協議会について

1.1. 概要

1.1.1. 開催目的

人口減少に伴う水需要の減少、施設の老朽化、深刻化する人材不足等の課題に対応するためには、水道の基盤強化が必要である。基盤強化の取組としては、広域連携や適切な資産管理の推進に加え、官民連携も有効な方策の一つであり、官民連携を進めるにあたっては、地域の実情や将来の事業のあり方に応じて、多様な手法の中から適切な手法を選択する必要がある。

このため、厚生労働省、経済産業省、公益社団法人日本水道協会及び一般社団法人日本工業用水協会が連携し、水道事業者等と民間事業者との連携（マッチング）促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」（以下、「協議会」という。）を開催しており、令和3年度については、4回の協議会を開催した。

1.1.2. 開催日程

令和3年度に開催された協議会の日程と参加者数は表 1.1 に示すとおりであり、富山県、北海道、沖縄県、山梨県の4地域で開催した。なお、第1回及び第4回においては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、ウェブ会議形式での開催となった（以下、「オンライン開催」という。）。

各回の参加者数は95～131名（内訳は水道事業者等が30～43名、民間事業者が65～101名）であり、469名（内訳は水道事業者等が133名、民間事業者が336名）の参加があった。

表 1.1 官民連携推進協議会の開催日程と参加者数(令和3年度)

回数	開催日	開催都道府県	会場	参加者数		
				水道事業者等	民間事業者	合計
第1回	R3.9.30(木)	富山県	オンライン開催	31	100	131
第2回	R3.11.18(木)	北海道	ACU-A (アスティ 45)	43	70	113
第3回	R3.12.10(金)	沖縄県	沖縄コンベンションセンター	30	65	95
第4回	R4.2.8(火)	山梨県	オンライン開催	29	101	130
合計				133	336	469

1.2. 協議会の実施状況

1.2.1. 議事進行

議事は以下の順序に従って実施した。なお、配付資料については厚生労働省水道課のウェブサイト※に掲載している。

※「令和3年度 水道分野における官民連携推進協議会」の開催概要及び資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/topics/bukyoku/kenkou/suido/shingi/kanmin_00011.html

第1回 富山県（オンライン開催）

1. 開会の挨拶
2. プレゼンテーション
 - (1) 水道事業者等における官民連携の先進的な取組
 - (2) 国における官民連携に関する取組
3. 情報提供
4. 民間事業者によるプレゼンテーション
5. フリーマッチング
6. 閉会の挨拶

第2回 北海道

1. 開会の挨拶
2. プレゼンテーション
 - (1) 水道事業者等における官民連携の先進的な取組
 - (2) 国における官民連携に関する取組
3. 情報提供
4. 民間事業者によるプレゼンテーション
5. フリーマッチング
6. 閉会の挨拶

第3回 沖縄県

1. 開会の挨拶
2. プレゼンテーション
 - (1) 水道事業者等における官民連携の先進的な取組
 - (2) 国における官民連携に関する取組
3. 情報提供
4. 民間事業者によるプレゼンテーション
5. フリーマッチング
6. 閉会の挨拶

第4回 山梨県（オンライン開催）

1. 開会の挨拶
2. プレゼンテーション
 - (1) 民間事業者における官民連携の先進的な取組
 - (2) 国における官民連携に関する取組
3. 情報提供
4. 民間事業者によるプレゼンテーション
5. フリーマッチング
6. 閉会の挨拶

1.2.2. 会場全景と開会挨拶

会場全景と開会挨拶の様子を写真 1.1～写真 1.4 に示す。

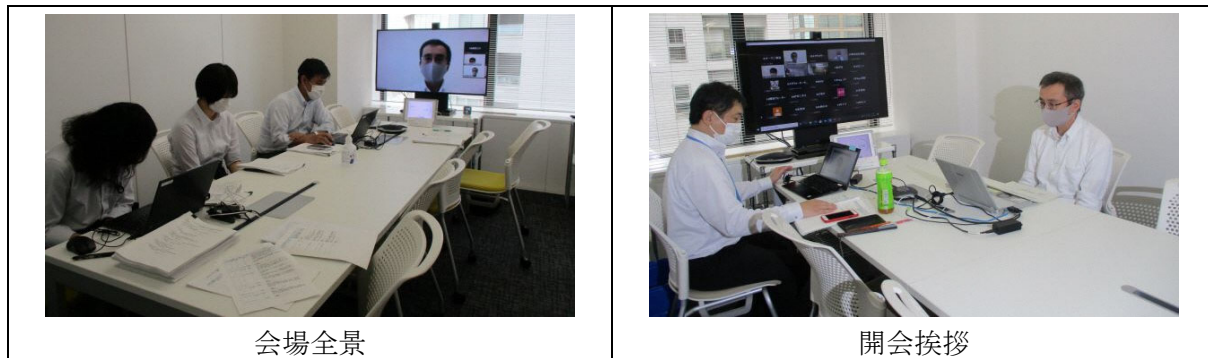


写真 1.1 会場全景と開会挨拶(第1回・富山県(オンライン開催))



写真 1.2 会場全景と開会挨拶(第2回・北海道)



写真 1.3 会場全景と開会挨拶(第3回・沖縄県)



写真 1.4 会場全景と開会挨拶(第4回・山梨県(オンライン開催))

1.2.3. プレゼンテーション

官民連携等に関する取り組み事例紹介として、ゲストスピーカーによるプレゼンテーションを行った。各回のゲストスピーカー、タイトル、講演の概要を表 1.2～表 1.5、プレゼンテーションの様子を写真 1.5～写真 1.8 に示す。

表 1.2 「官民連携に関する取り組み事例紹介」の概要(第1回・富山県・オンライン)

ゲストスピーカー	タイトル	講演の概要
妙高市ガス上下水道局	妙高市ガス事業譲渡及び上下水道事業包括的民間委託の概要	新潟県妙高市の紹介 あり方検討までの経緯 妙高市の公営企業の概要 妙高市ガス事業及び上下水道事業が直面する経営課題 ガス事業及び上下水道事業の今後のあり方 事業者公募～現在までの経緯 ガス事業譲渡及び上下水道事業包括的民間委託の事業条件 今後の予定
一般社団法人 日本ダクタイル 鉄管協会	「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管路更新を促進するための取り組み	管路更新を促進するための取り組み 小規模簡易 DB 方式の概要 研究会（第2期）の活動状況 小規模簡易 DB 導入の検討課題と対応事例 令和3年度の取り組み
厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課 水道計画指導室	水道事業における官民連携について	広域連携・官民連携について 水道事業に係る IoT 予算関係等について
経済産業省 地域経済産業グループ 地域産業基盤整備課	工業用水道分野における PPP/PFI の推進に向けて	工業用水道事業について 工業用水道分野の位置づけの変遷 (参考) PPP/PFI 推進アクションプラン 工業用水道事業での PPP/PFI 事業の先進事例 (参考) 工業用水道分野におけるコンセッション方式の導入進捗状況 「工業用水道事業における PFI 導入の手引書」の改定 工業用水道事業における PPP/PFI 導入の手引書の構成事例集 検討ツールの解説書 プロセス・チェックリスト 関係者説明資料 業務範囲と PPP/PFI (参考) 工業用水道事業へのコンセッション方式等の PPP/PFI 活用について

表 1.3 「官民連携に関する取り組み事例紹介」の概要(第2回・北海道)

ゲスト スピーカー	タイトル	講演の概要
桂沢水道企業団	DB (デザインビルド) 方式による桂沢浄水場更新事業	<p>桂沢水道企業団の概要 桂沢浄水場の老朽化状況 桂沢浄水場耐震診断 桂沢浄水場将来構想検討委員会 桂沢浄水場更新の経緯 発注方式について 入札方式について 発注方式と入札方式について 事業理念について 事業スケジュール 桂沢浄水場更新事業事業者選定委員会 桂沢浄水場更新事業の落札者の決定 浄水処理フロー 水道用水供給事業変更認可 事業スケジュール 現在までの進捗状況 浄水処理設備について</p>
旭川市水道局	官民連携について	<p>旭川市水道事業の概要 旭川市人口・給水区域内人口・給水人口・有収水量 給水収益の推移 職員数から見る官民連携の必要性 個別委託から包括委託へ 硬質塩化ビニル管 (TS 継手) 対策 管路更新を行わなかった場合の管種割合の推計 この先の熟練職員の大量退職と技術の空洞化 浄水場運転管理業務委託について 旭川市水道事業の概要 浄水場運転管理業務委託について 水道事業における官民連携手法と取組状況 水道事業における官民連携手法とメリット</p>
一般社団法人 日本ダクタイル 鉄管協会	「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管路更新を促進するための取り組み	<p>水道事業者の管工事に係る業務環境の再確認) 管路更新を促進するための取り組み 小規模簡易 DB 方式の概要 研究会 (第 2 期) の活動状況 小規模簡易 DB 導入の課題と対応事例 (研究会での討議内容) 令和 3 年度の取組み</p>
厚生労働省 医 薬・生活衛生局 水道課 水道計 画指導室	水道事業における官民連携について	<p>広域連携・官民連携について 水道事業に係る IOT 活用等について</p>
経済産業省 地 域経済産業グル ープ 地域産業 基盤整備課	工業用水道分野における PPP/PFI の推進に向けて	<p>工業用水道事業について 工業用水事業での PPP/PFT 事業の先進事例 「工業用水道事業における PFI 導入の手引書」の改定 工業用水事業における PPP/PFT 導入の手引書の構成 事例集 検討ツールの解説書 プロセス・チェックリスト 関係者説明資料 業務範囲と PPP/PFI</p>

表 1.4 「官民連携に関する取り組み事例紹介」の概要(第3回・沖縄県)

ゲスト スピーカー	タイトル	講演の概要
宜野湾市上下水道局	宜野湾市上下水道事業包括業務委託について	包括業務委託の概要 包括業務委託実施に至った経緯 委託開始に向けた取組 募集広告から委託開始までのスケジュール 包括委託する業務 包括委託の事業スキーム（イメージ） 包括業務委託のメリット・デメリット 委託契約の概要 財政的効果等 モニタリングについて
一般社団法人 日本ダクタイル 鉄管協会	「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管路更新を促進するための取組み	水道事業体の管工事に係る業務環境の再認識 管路更新を促進するための取組み 小規模簡易 DB 方式の概要 研究会（第2期）の活動状況 小規模簡易 DB 導入の課題と対応事例 令和3年度の取組み
厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課 水道計画指導室	水道事業における官民連携について	広域連携・官民連携について 水道事業に係る IoT 活用等について
経済産業省 地域経済産業グループ 地域産業基盤整備課	工業用水道分野における PPP/PFI の推進に向けて	工業用水道事業の現状と課題 工業用水道事業法におけるコンセッション方式の明確化 省令等の改正概要 工業用水道分野におけるコンセッション方式導入進捗状況 事例：熊本県有明・八代工業用水道運営事業（コンセッション） 「工業用水道事業における PFI 導入の手引書」の改訂 「工業用水道事業における PFI 導入の手引書」の全体構成 業務範囲と PPP/PFI

表 1.5 「官民連携に関する取り組み事例紹介」の概要(第4回・山梨県・オンライン)

ゲスト スピーカー	タイトル	講演の概要
株式会社 水み らい小諸	小諸市水道事業に おける水みらい小 諸の取組みについ て	小諸市水道の概要 水道事業会計の財政状況の推移 職員の経験年数と技術職員数 小諸市水道の近年の状況 小諸市水道事業の主な課題 官・民の主な業務分担 水みらい小諸の業務概要図 水みらい小諸における自主研修（令和2年度） 今後想定される事業の形態
一般社団法人 日本ダクタイル 鉄管協会	「管路更新を促進 する工事イノベー ション研究会」を 通じた管路更新を 促進するための取 り組み	はじめに 管路更新を促進するための取り組み 小規模簡易 DB 方式の概要 研究会（第2期）の活動状況 小規模簡易 DB 導入の検討課題と対応事例 令和3年度の取り組み まとめ
厚生労働省 医 薬・生活衛生局 水道課 水道計 画指導室	水道事業における 官民連携について	広域連携・官民連携について 水道事業に係る IoT 活用について
経済産業省 地 域経済産業グル ープ 地域産業 基盤整備課	工業用水道分野に おける PPP/PFI の推進に向けて	工業用水道事業の現状と課題 工業用水道事業法におけるコンセッション方式の明確 化 省令などの改正概要 工業用水道分野におけるコンセッション方式導入進捗 状況 「工業用水道事業における PFI 導入の手引書」の改訂 「工業用水道事業における PFI 導入の手引書」の全体 構成 業務範囲と PPP/PFI

 <p>令和3年度 第1回水道分野における官民連携推進協議会</p> <p>妙高市ガス事業譲渡及び上下水道事業 包括的民間委託の概要</p> <p>2021年9月30日(木) 新潟県 妙高市</p> <p>妙高市ガス事業譲渡及び 上下水道事業包括的民間委託の概要</p>	 <p>「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた 管路更新を促進するための取り組み</p> <p>令和3年 9月 30日</p> <p>一般社団法人 日本ダクトイノベーション協会</p> <p>「管路更新を促進する工事イノベーション研 究会」を通じた管路更新を促進するための 取り組み</p>
 <p>令和3年度 第1回水道分野における官民連携推進協議会 【R3.9.30(木)】</p> <p>水道事業における官民連携について</p> <p>厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課 水道計画推進室長 東 利博</p> <p>水道事業における官民連携について</p>	 <p>経済産業省</p> <p>工業用水道分野における PPP/PFIの推進に向けて</p> <p>経済産業省 工業用水道計画官 小林 秀司</p> <p>工業用水道分野における PPP/PFI の 推進に向けて</p>

写真 1.5 取り組み事例紹介の様子(第1回・富山県(オンライン開催))



DB (デザインビルド) 方式による
桂沢浄水場更新事業



官民連携について



「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管路更新を促進するための
取り組み



水道事業における官民連携について



工業用水道分野における PPP/PFI の
推進に向けて

写真 1.6 取り組み事例紹介の様子(第2回・北海道)



宜野湾市上下水道事業包括業務委託について



「管線更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管線更新を促進するための取り組み

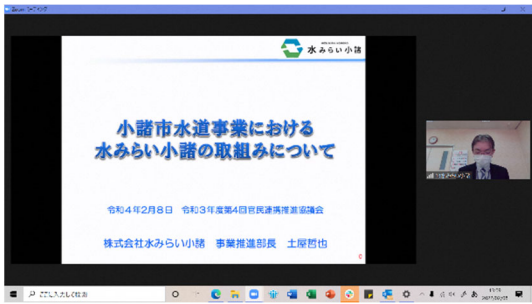


水道事業における官民連携について

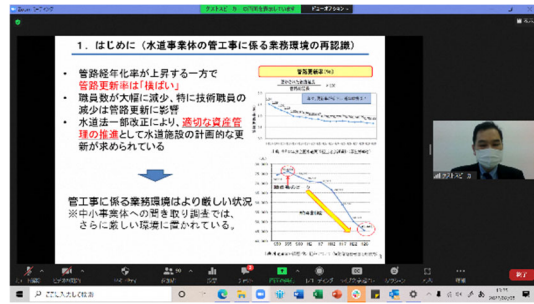


工業用水道分野における PPP/PFI の推進に向けて

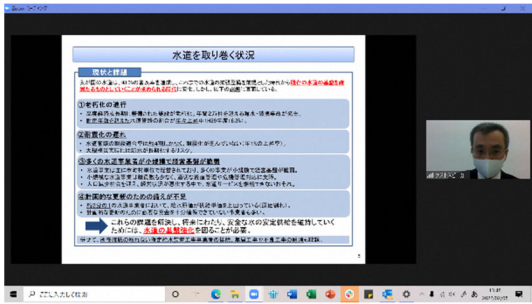
写真 1.7 取り組み事例紹介の様子(第3回・沖縄県)



小諸市水道事業における水みらい小諸の取組みについて



「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」を通じた管路更新を促進するための取り組み



水道事業における官民連携について



工業用水道分野における PPP/PFI の推進に向けて

写真 1.8 取り組み事例紹介の様子(第4回・山梨県(オンライン開催))

1.2.4. 情報提供

情報提供として、「広域化・公民連携 情報プラットフォームのご案内」及び「水道施設管理技士資格制度について」等（公益社団法人 日本水道協会 水道技術総合研究所）並びに「水道情報活用システム標準仕様研究会と活動状況のご紹介」（水道情報活用システム標準仕様研究会）のプレゼンテーションを行った。情報提供の様子を写真 1.9～写真 1.12 に示す。

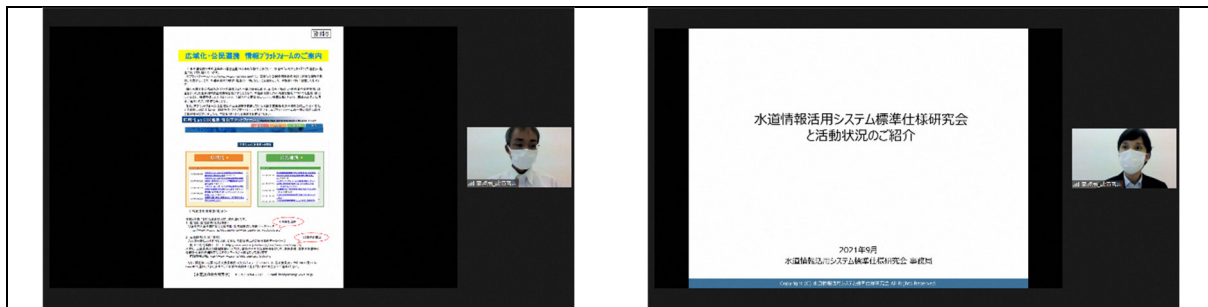


写真 1.9 情報提供の様子(第1回・富山県(オンライン開催))



写真 1.10 情報提供の様子(第2回・北海道)



写真 1.11 情報提供の様子(第3回・沖縄県)

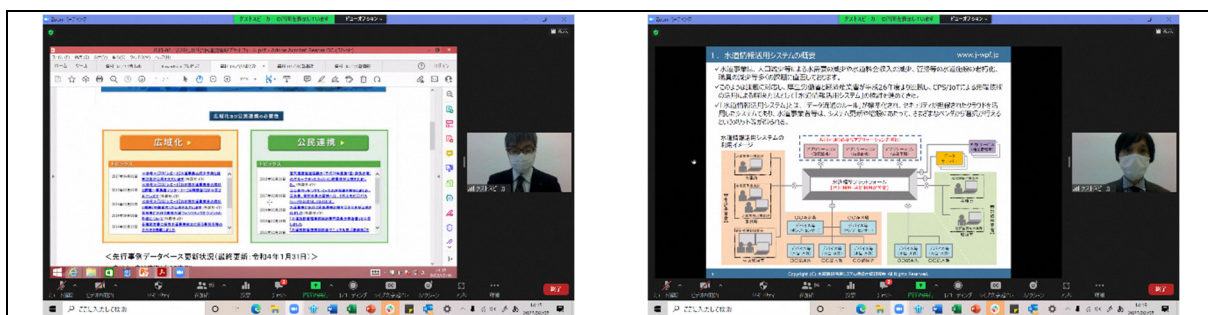


写真 1.12 情報提供の様子(第4回・山梨県(オンライン開催))

1.2.5. 民間事業者によるプレゼンテーション

水道事業者が抱えている課題や民間事業者が提供可能な技術等について、意見交換や情報共有を行うため、表 1.6～表 1.9 に示す 2 グループに分けて、民間事業者によるプレゼンテーションを行った。その様子を写真 1.13～写真 1.16 に示す。

表 1.6 民間事業者によるプレゼンテーションのグループ(第1回)

グループ A	日水コン、日本水工設計、クボタ、東海鋼管、日立製作所、明電舎、前澤工業、JFE エンジニアリング、日本原料、フソウ、一般社団法人日本水道運営管理協会
グループ B	東京設計事務所、EY ストラテジー&コンサルティング、栗本鐵工所、日鉄パイプライン&エンジニアリング、東芝インフラシステムズ、水 ing、水道機工グループ、ヴェオリア・ジェネッツ、トーケミ、月島機械、JECC

表 1.7 民間事業者によるプレゼンテーションのグループ(第2回)

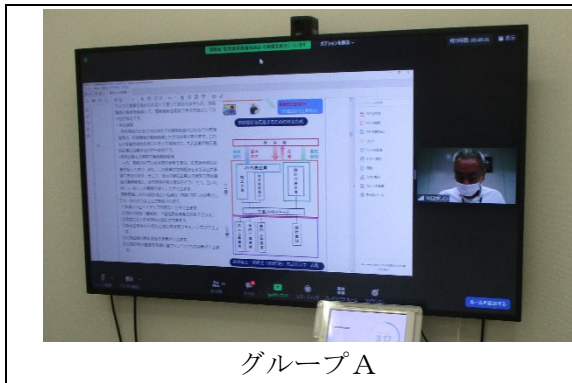
グループ A	日水コン、日本水工設計、クボタ、日立製作所、前澤工業、JFE エンジニアリング、コスモ工機、日本原料、フソウ、さっぽろ水道サービス協会、日本水道運営管理協会
グループ B	NJS、EY ストラテジー&コンサルティング、栗本鐵工所、日鉄パイプライン&エンジニアリング、東芝インフラシステムズ、三菱電機、水 ING、クボタ環境サービス、水機テクノス、第一環境、トーケミ、JECC

表 1.8 民間事業者によるプレゼンテーションのグループ(第3回)

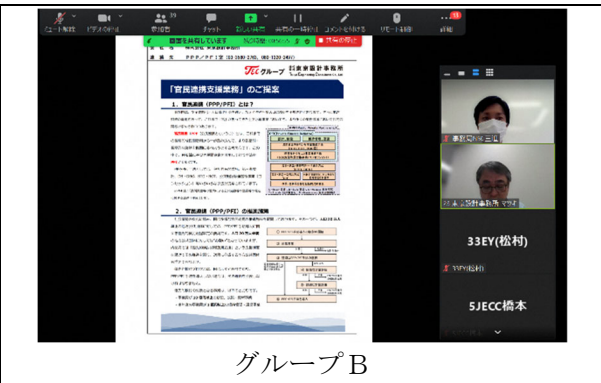
グループ A	日水コン、日本水工設計、クボタ、日立製作所、前澤工業、コスモ工機、トーケミ、フソウグループ、第一環境
グループ B	東京設計事務所、EY ストラテジー&コンサルティング、アジア航測、日鉄パイプライン&エンジニアリング、東芝インフラシステムズ、クリモトパイプエンジニアリング、クボタ環境サービス、水道機工グループ、JECC

表 1.9 民間事業者によるプレゼンテーションのグループ(第4回)

グループ A	日水コン、東京設計事務所、水 ing、JFE エンジニアリング、東芝インフラシステムズ、栗本鐵工所、コスモ工機、クボタ環境サービス、日立製作所、日本水道運営管理協会、日本原料、第一環境
グループ B	NJS、日本水工設計、メタウォーター、水みらい小諸、水道機工グループ（水道機工株式会社、株式会社水機テクノス）、クボタ、日鉄パイプライン&エンジニアリング、前澤工業、三菱電機、JECC、トーケミ、フソウ



グループ A



グループ B

写真 1.13 民間事業者によるプレゼンテーションの様子(第1回・富山県(オンライン開催))



グループ A



グループ B

写真 1.14 民間事業者によるプレゼンテーションの様子(第2回・北海道)



グループ A



グループ B

写真 1.15 民間事業者によるプレゼンテーションの様子(第3回・沖縄県)



グループ A



グループ B

写真 1.16 民間事業者によるプレゼンテーションの様子(第4回・山梨県(オンライン開催))

1.2.6. フリーマッチング

水道事業者と民間事業者が個別に対面して意見交換を行うフリーマッチングについて、第2回及び第3回では現地で実施した。また、オンライン開催となった第1回と第4回ではZoom上で実施した。現地開催及びオンライン開催でのフリーマッチングの様子を写真 1.17 に示す。



写真 1.17 現地開催及びオンライン開催のフリーマッチングの様子

1.2.7. 閉会の挨拶

閉会の挨拶の様子を写真 1.18 に示す。



写真 1.18 閉会挨拶の様子

1.3. 協議会の準備(オンライン開催への対応)

今年度の協議会で実施した特筆すべき事項として、コロナ対策のため、第1回と第4回では昨年度と同様にオンライン開催としたことが挙げられる。以下では、特にオンライン開催を行うに当たって留意した事項について述べる。

1.3.1. 使用したシステム

1) ゲストスピーカーによるプレゼンテーション・情報提供

ゲストスピーカーによるプレゼンテーションと情報提供については「Zoom ミーティング」を使用した。

「Zoom ミーティング」は、講演者と視聴者ともに操作がしやすいことや、多くの視聴者が参加できるといった特徴を有しており、講義形式のウェブセミナー等において広く利用されている機能である。

2) 民間事業者によるプレゼンテーション・フリーマッチング

民間事業者によるプレゼンテーションとフリーマッチングでは「Zoom ブレイクアウトルーム」を使用した。

「Zoom ブレイクアウトルーム」は、複数のルームを構築し、各々のルームにおいて対話を行うことができるといった特徴を有しており、比較的小人数の交流において広く利用されている機能である。

1.3.2. 接続テストの実施

オンライン開催を行うに当たり、接続できないといったシステム上のトラブルの発生が懸念されたため、水道事業者を対象として数日・複数回に渡って接続テストを行った。この結果、水道事業者側でのパソコンのフリーズによる通信切断はあったが、Zoom に接続できないといった不具合は生じなかった。

2. アンケートの実施と結果のとりまとめ

今後の官民連携推進協議会の運営の参考とするため、出席者を対象としてアンケート調査を実施した。アンケート調査の概要は表 2.1 に示すとおりであり、協議会の終了後に実施する「事後アンケート」と、年度末にまとめて実施する「総括アンケート」の2通りの方法で行った。

表 2.1 アンケート調査の概要

	事後アンケート	総括アンケート
主旨	協議会に対する感想や要望等を聴取し、次回以降の改善の参考にする。	官民連携全般に対する取組み状況や、協議会の効果等を確認し、次年度以降の改善の参考にする。
実施回数	4回	1回
実施時期 及び 回収期間	協議会の終了後、2～3日後に送付し、一週間程度で回収	年度末（2月下旬）に送付し、一週間程度で回収

2.1. 事後アンケートについて

2.1.1. 事後アンケートの内容

事後アンケート調査票を以下に示す。第1回及び第4回はオンライン開催となったため、質問内容をオンライン開催用に変更してアンケートを行った。

令和3年度 第1回 水道分野における官民連携推進協議会（9月30日）ウェブ会議方式 事後アンケート調査票

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

1 基本情報

水道行政担当部局		←該当するものいづれかに○を入力して下さい。
水道事業者等※		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水事業者

団体の名称

2 当日の協議会について

① 今回の協議会に参加されてみてのご感想をお聞かせください。

a) 参考になった		←該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) 参考にならなかった		
c) ウェブ会議に参加できなかった		

①で「b) 参考にならなかった」と回答された方は、理由をお聞かせください。

② 今回の協議会に参加して良かった点についてお聞かせ下さい。【複数回答可】

a) プレゼンテーションにおいて、国、水道事業者、民間事業者の取組に関する最新情報を聴くことができた。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) 情報提供において、業界の取組に関する最新情報を聴くことができた。		
c) 民間事業者によるプレゼンテーションにおいて、参考となる情報を聴くことができた。		
d) フリーマッチングにおいて、有意義な情報交換を行うことができた。		
e) その他(具体的な内容について下欄にご記入下さい。)		
f) 特になし。		

②で「e) その他」と回答された方は、具体的な内容をご記入下さい。

③ 今回の協議会に参加してみて、改善した方がよいと思う点があれば、お聞かせ下さい。

a) プレゼンテーション		←該当するものに○を入力して下さい。【複数回答可】
b) 情報提供		
c) 民間事業者によるプレゼンテーション		
d) フリーマッチング		
e) 全体		

③で「○」をつけられた事項について、改善すべき点をお聞かせ下さい。

④ (民間事業者の方のみ回答)

今回の協議会では、事前に水道事業者等の課題調査票を提出していただき、これを「資料-9 水道事業者の課題一覧(非公開)」として配付しました。
この資料-9は有効に使われましたか。

a) 民間事業者によるプレゼンテーションの際に有効であった。		←該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) フリーマッチングの際に有効であった。		
c) その他のごことで有効であった。		
d) 改善したほうが良い点がある。		

④のa)またはb)またはc)に「○」をつけられた方は、「資料-9 水道事業者の課題一覧(非公開)」をどのように活用したかお聞かせ下さい。

④のd)に「○」をつけられた方は、改善点をお聞かせ下さい。

⑤ (水道事業者等の方のみ回答)

民間事業者によるプレゼンテーションを聴講されて、その内容に質問がありましたら、民間事業者名と質問内容をご記入下さい。
また、ご記入いただいた質問内容は該当する民間事業者にお伝えし、その回答結果を後日お知らせしますので、ご担当者の連絡先をご記入下さい。

民間事業者名とご質問の内容(複数可)

貴水道事業者等の名称、ご担当者の連絡先

⑥ (水道事業者等の方のみ回答)

今後、取り組みたい、または取り組む予定がある官民連携手法等をお聞かせください。なお、本回答の情報は今回の協議会に出席した民間事業者に提供させていただきますので、ご承知おきください。※記入できる範囲で構いません。

	官民連携手法 (該当する手法について、ブルダウンドで○を選択。複数可)	想定する業務 (浄水場の運転管理、料金徴収業務等)	想定する開始時期	※想定する業務と開始時期については、予定が無ければ記載不要です。
a) 包括委託				
b) 第三者委託				
c) 指定管理者制度				
d) DB				
e) DBM				
f) DBO				
g) PFI				
h) コンセッション				
i) その他 ※上欄にあてはまらない手法があればご記入ください。				

⑦ (水道事業者等の方のみ回答)

民間事業者によるプレゼンテーションを聴講されて、興味を持ち、対話を希望される民間事業者がありましたら、事業者名をご記入下さい。また、ご指名をされた民間事業者に対して、その旨をお伝えしますので、ご担当者の連絡先をご記入下さい。
なお、連絡先が上記⑤と同じ場合は「同上」とご記入下さい。

民間事業者名(複数可)

貴水道事業者等の名称、ご担当者の連絡先(上記⑤と同じ場合は「同上」と「記入」)

3 ウェブ会議方式での開催について

① 今回の協議会は、新型コロナウイルス対策のためウェブ会議方式での開催とさせていただきます。ウェブ会議方式での開催について率直なご感想、ご意見をお聞かせ下さい。

--

4 全般

① 貴事業者が抱える課題解決のために、水道事業者又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
b) 考えていない		

② 今後も本協議会に参加したいと考えますか。

a) 考えている		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
b) 考えていない		

③ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他国に対するご意見等をご自由に記入下さい。

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和3年度 第2回 水道分野における官民連携推進協議会（11月18日 北海道）
事後アンケート調査票

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

1 基本情報

水道行政担当部局		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
水道事業者等※1		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水事業者

団体の名称

--

2 当日の協議会について

① 今回の協議会に参加されてのご感想をお聞かせ下さい。

a) 参考になった		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
b) 参考にならなかった		

①で「b) 参考にならなかった」と回答された方は、理由をお聞かせ下さい。

--

② 水道事業者等又は民間事業者の方と名刺交換をされましたか。

a) 名刺交換をした。		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
b) 名刺交換をしなかった。		

②で「a) 名刺交換をした」と回答された方に伺います。

③ それはおよそ何事業者ぐらいですか。

水道事業者等との交換		事業者
民間事業者との交換		事業者

④ 今回の協議会に参加して良かった点についてお聞かせ下さい。【複数回答可】

a) プレゼンテーションにおいて、国、水道事業者、民間事業者の取組に関する最新情報を聴くことができた。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) 情報提供において、業界の取組に関する最新情報を聴くことができた。		
c) 民間事業者によるプレゼンテーションにおいて、参考となる情報を聴くことができた。		
d) フリーマッチングで多くの方と意見交換ができ、相談相手となる人のつながりができた。		
e) その他(具体的な内容について下欄にご記入下さい。)		
f) 特になし。		

④で「e) その他」と回答された方は、具体的な内容をご記入下さい。

--

⑤ 今回の協議会に参加して改善した方がよいと思う点があれば、お聞かせ下さい。

a) プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
b) 情報提供	<input type="checkbox"/>
c) 民間事業者によるプレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
d) フリーマッチング	<input type="checkbox"/>
e) 全体	<input type="checkbox"/>

←該当するものに○を入力して下さい。【複数回答可】

⑥で「○」をつけられた事項について、改善すべき点をお聞かせ下さい。

--

⑥ 今回の協議会では、事前に水道事業者等の課題調査票を提出していただき、これを「資料-11 水道事業者の課題一覧」として配付しました。この資料-11は有効に使われましたか。

a) 民間事業者によるプレゼンテーション時に有効であった。	<input type="checkbox"/>
b) フリーマッチング時に有効であった。	<input type="checkbox"/>
c) その他のことで有効であった。	<input type="checkbox"/>
d) 改善したほうが良い点がある。	<input type="checkbox"/>

←該当するものいづれかに○を入力して下さい。

⑥のa)～c)に「○」をつけられた方は、「資料-11 水道事業者の課題一覧」をどのように活用したかお聞かせ下さい。

--

⑥のd)に「○」をつけられた方は、改善点をお聞かせ下さい。

--

⑦ 貴事業者が抱える課題解決のために、本協議会で知り合った水道事業者又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている	<input type="checkbox"/>
b) 考えていない	<input type="checkbox"/>

←該当するものいづれかに○を入力して下さい。

⑧ 今後も本協議会に参加したいと考えますか。

a) 考えている	<input type="checkbox"/>
b) 考えていない	<input type="checkbox"/>

←該当するものいづれかに○を入力して下さい。

⑨ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他国に対するご意見等をご自由に記入下さい。

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和3年度 第3回 水道分野における官民連携推進協議会（12月10日 沖縄県）
事後アンケート調査票

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

1 基本情報

水道行政担当部局		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
水道事業者等 ※		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水事業者

団体の名称

--

2 当日の協議会について

① 今回の協議会に参加されてのご感想をお聞かせ下さい。

a) 参考になった		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
b) 参考にならなかった		

①で「b) 参考にならなかった」と回答された方は、理由をお聞かせ下さい。

--

② 水道事業者等又は民間事業者の方と名刺交換をされましたか。

a) 名刺交換をした。		←該当するもの いずれかに ○を入力して下さい。
b) 名刺交換をしなかった。		

②で「a) 名刺交換をした」と回答された方に伺います。

③ それはおよそ何事業者ぐらいですか。

水道事業者等との交換		事業者
民間事業者との交換		事業者

④ 今回の協議会に参加して良かった点についてお聞かせ下さい。【複数回答可】

a) プレゼンテーションにおいて、国、水道事業者、民間事業者の取組に関する最新情報を聴くことができた。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) 情報提供において、業界の取組に関する最新情報を聴くことができた。		
c) 民間事業者によるプレゼンテーションにおいて、参考となる情報を聴くことができた。		
d) フリーマッチングで多くの方と意見交換ができ、相談相手となる人のつながりができた。		
e) その他(具体的な内容について下欄にご記入下さい。)		
f) 特になし。		

④で「e) その他」と回答された方は、具体的な内容をご記入下さい。

--

⑤ 今回の協議会に参加して改善した方がよいと思う点があれば、お聞かせ下さい。

a) プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
b) 情報提供	<input type="checkbox"/>
c) 民間事業者によるプレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
d) フリーマッチング	<input type="checkbox"/>
e) 全体	<input type="checkbox"/>

←該当するものに○を入力して下さい。【複数回答可】

⑥で「○」をつけられた事項について、改善すべき点をお聞かせ下さい。

⑥ 【この質問は民間事業者のみご回答下さい。】今回の協議会では、事前に水道事業者等の課題調査票を提出していただき、これを「資料-11 水道事業者の課題一覧」として配付しました。この資料-11は有効に使われましたか。

a) 民間事業者によるプレゼンテーション時に有効であった。	<input type="checkbox"/>
b) フリーマッチング時に有効であった。	<input type="checkbox"/>
c) その他のことで有効であった。	<input type="checkbox"/>
d) 改善したほうが良い点がある。	<input type="checkbox"/>

←該当するものいづれかに○を入力して下さい。

⑥のa)～c)に「○」をつけられた方は、「資料-11 水道事業者の課題一覧」をどのように活用したかお聞かせ下さい。

⑥のd)に「○」をつけられた方は、改善点をお聞かせ下さい。

⑦ 貴事業者が抱える課題解決のために、本協議会で知り合った水道事業者又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている	<input type="checkbox"/>
b) 考えていない	<input type="checkbox"/>

←該当するものいづれかに○を入力して下さい。

⑧ 今後も本協議会に参加したいと考えますか。

a) 考えている	<input type="checkbox"/>
b) 考えていない	<input type="checkbox"/>

←該当するものいづれかに○を入力して下さい。

⑨ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他国に対するご意見等をご自由に記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和3年度 第4回 水道分野における官民連携推進協議会（2月8日）ウェブ会議方式
事後アンケート調査票

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

1 基本情報

水道行政担当部署	
水道事業者等※	
民間事業者	
その他	

←該当するものいづれかに○を入力して下さい。

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水道事業者

団体の名称

2 当日の協議会について

① 今回の協議会に参加されてのご感想をお聞かせください。

a) 参考になった	
b) 参考にならなかった	
c) ウェブ会議に参加できなかった	

←該当するものいづれかに○を入力して下さい。

①で「b) 参考にならなかった」と回答された方は、理由をお聞かせください。

② 今回の協議会に参加して良かった点についてお聞かせ下さい。【複数回答可】

a) プレゼンテーションにおいて、国、民間事業者の取組に関する最新情報を聴くことができた。	
b) 情報提供において、業界の取組に関する最新情報を聴くことができた。	
c) 民間事業者によるプレゼンテーションにおいて、参考となる情報を聴くことができた。	
d) フリーマッチングで多くの方と意見交換ができ、相談相手となる人のつながりができた。	
e) その他(具体的な内容について下欄にご記入下さい。)	
f) 特になし。	

←該当するものに○を入力して下さい。

②で「e) その他」と回答された方は、具体的な内容をご記入下さい。

③ 今回の協議会に参加してみて、改善した方がよいと思う点があれば、お聞かせ下さい。

a) プレゼンテーション	
b) 情報提供	
c) 民間事業者によるプレゼンテーション	
d) フリーマッチング	
e) 全体	

←該当するものに○を入力して下さい。【複数回答可】

③で「○」をつけられた事項について、改善すべき点をお聞かせ下さい。

④【この質問は民間事業者のみご回答下さい。】

今回の協議会では、事前に水道事業者等の課題調査票を提出していただき、これを「資料-9 水道事業者の課題一覧(非公開)」として配付しました。
この資料-9は有効に使われましたか。

a) 民間事業者によるプレゼンテーションの際に有効であった。		←該当するものいづれかに○を入力して下さい。
b) フリーマッチングの際に有効であった。		
c) その他のごことで有効であった。		
d) 改善したほうが良い点がある。		

④のa)～c)に「○」をつけられた方は、「資料-9 水道事業者の課題一覧(非公開)」をどのように活用したかお聞かせ下さい。

④のd)に「○」をつけられた方は、改善点をお聞かせ下さい。

⑤【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

民間事業者によるプレゼンテーションを聴講されて、質問したいことがありましたら、民間事業者名と質問内容をご記入下さい。
また、ご記入いただいた質問内容は該当する民間事業者にお伝えし、回答結果を後日お知らせしますので、ご担当者の連絡先をご記入下さい。

民間事業者名とご質問の内容(複数可)

貴水道事業者等の名称、ご担当者の連絡先

⑥【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

今後、取り組みたい、または取り組む予定がある官民連携手法等をお聞かせください。なお、本回答の情報は今回の協議会に出席した民間事業者に提供させていただきますので、ご承知おきください。※記入できる範囲で構いません。

	官民連携手法 (該当する手法について、プルダウンで○を 選択。複数可)	想定する業務 (浄水場の運転管理、料金徴収業務等)	想定する開始時期	※想定する業務と開始時期 については、予定が無ければ 記載不要です。
a) 包括委託				
b) 第三者委託				
c) 指定管理者制度				
d) DB				
e) DBM				
f) DBO				
g) PFI				
h) コンセッション				
i) その他 ※上欄にあてはまらない手法があればご記入ください。				

⑦【この質問は水道事業者のみご回答下さい。】

民間事業者によるプレゼンテーションを聴講されて、興味を持ち、対話を希望される民間事業者がありましたら、事業者名をご記入下さい。また、ご指名をされた民間事業者に対して、その旨をお伝えしますので、ご担当者の連絡先をご記入下さい。
なお、連絡先が上記⑤と同じ場合は「同上」とご記入下さい。

民間事業者名(複数可)

貴水道事業者等の名称、ご担当者の連絡先(上記⑤と同じ場合は「同上」と「記入」)

3 ウェブ会議方式での開催について

① 今回の協議会は、新型コロナウイルス対策のためウェブ会議方式での開催とさせていただきます。ウェブ会議方式での開催について率直な感想、ご意見をお聞かせ下さい。

--

4 全般

① 貴事業者が抱える課題解決のために、水道事業者又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている	<input type="checkbox"/>
b) 考えていない	<input type="checkbox"/>

 一該当するものいづれかに○を入力して下さい。

② 今後も本協議会に参加したいと考えますか。

a) 考えている	<input type="checkbox"/>
b) 考えていない	<input type="checkbox"/>

 一該当するものいづれかに○を入力して下さい。

③ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他国に対するご意見等をご自由に記入下さい。

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

2.1.2. 事後アンケートの結果

1) 回答数と回収率

事後アンケートの回答数と回収率を図 2.1 に示す。参加団体数は 47～65 団体に対して、回答のあった団体数は 28～41 団体であり、回収率は 59.6～69.8%であった。

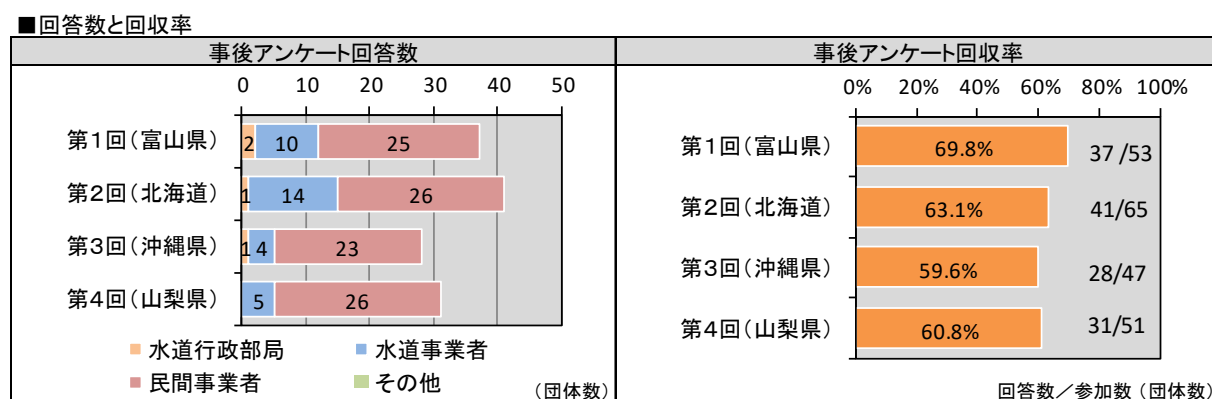


図 2.1 事後アンケートの回答数と回収率

2) 当日の協議会について

(1) 協議会の感想

協議会に参加しての感想は図 2.2 に示すとおりであり、「参考になった」という回答がほとんどであるが、第4回で「参考にならなかった」という回答もあった。なお、第1回と第4回はコロナ対策としてオンライン開催となったが、「オンライン会議に参加できなかった」という回答は無かった。

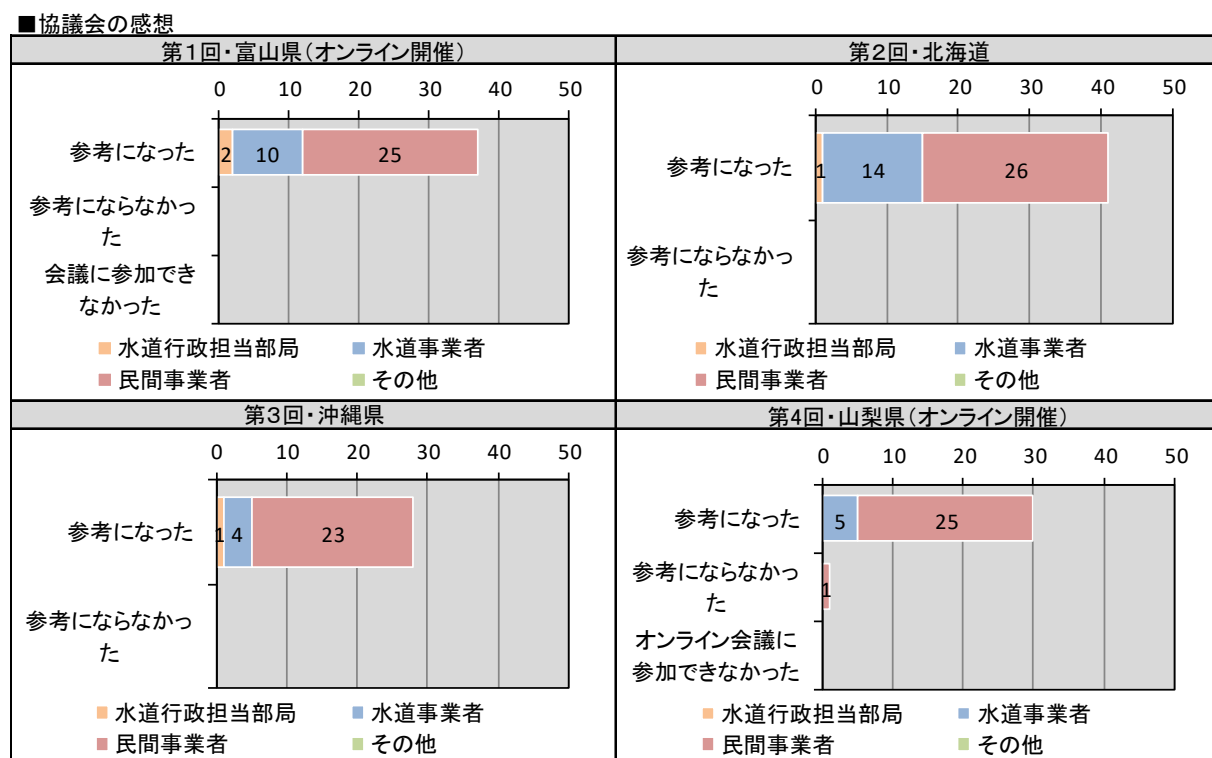


図 2.2 当日の協議会に参加されての感想

(2) 名刺交換の有無

現地開催となった第2回と第3回における名刺交換の有無を図 2.3 に示す。大多数の参加者は名刺交換を行っており、水道事業者と民間事業者の交流の場として機能していると考えられる。

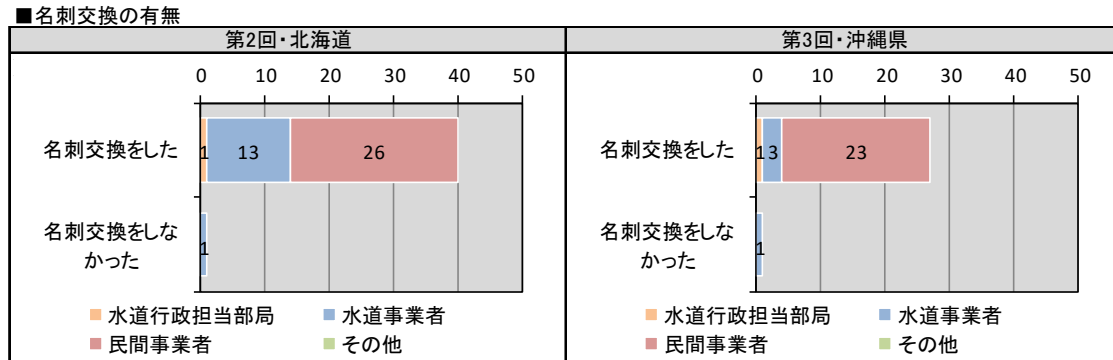


図 2.3 名刺交換の有無

(3) 名刺交換の枚数

名刺交換の枚数を図 2.4 に示す。水道事業者との交換及び民間事業者との交換とも 1～5 枚が最も多いが、水道事業者と民間事業者とのやりとりだけでなく、水道事業者間や民間事業者間でも交換している様子が伺える。

水道事業者においては、広域連携にて事業体間の連携を図る場面が増えていくことが予想される。また、民間事業者においては、官民連携の案件において民間事業者同士の協働によって取り組む機会が増えていることから、水道に関わる関係者間の交流を促す本協議会の取組の重要性は今後ますます高まっていくものと推察される。

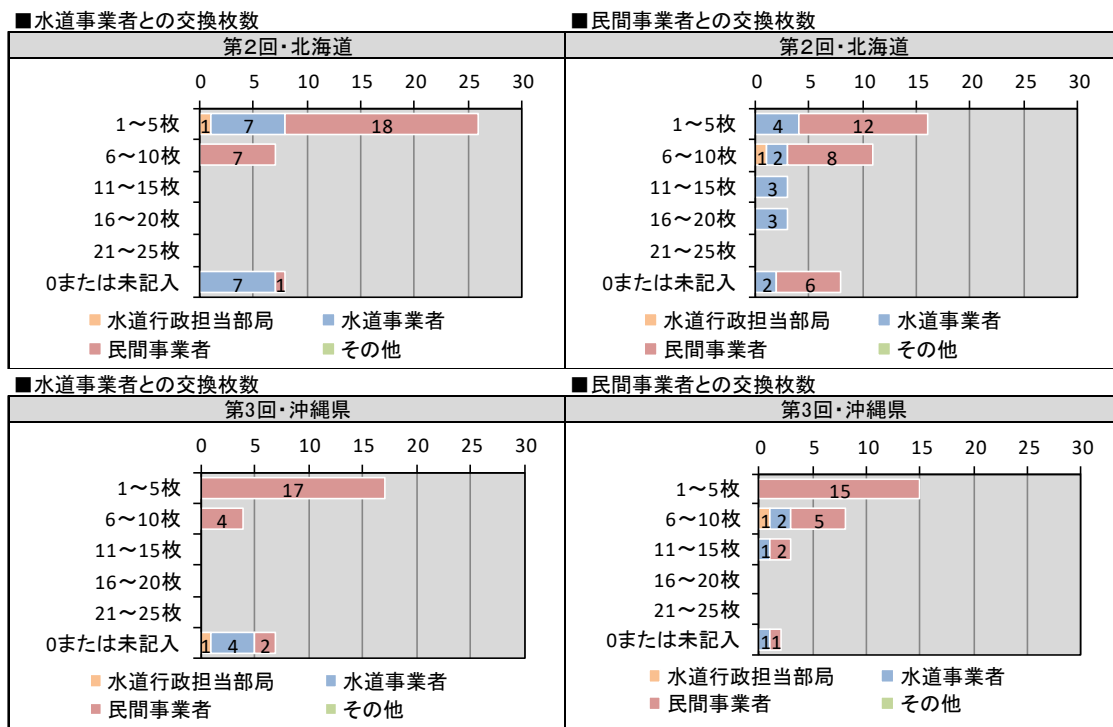
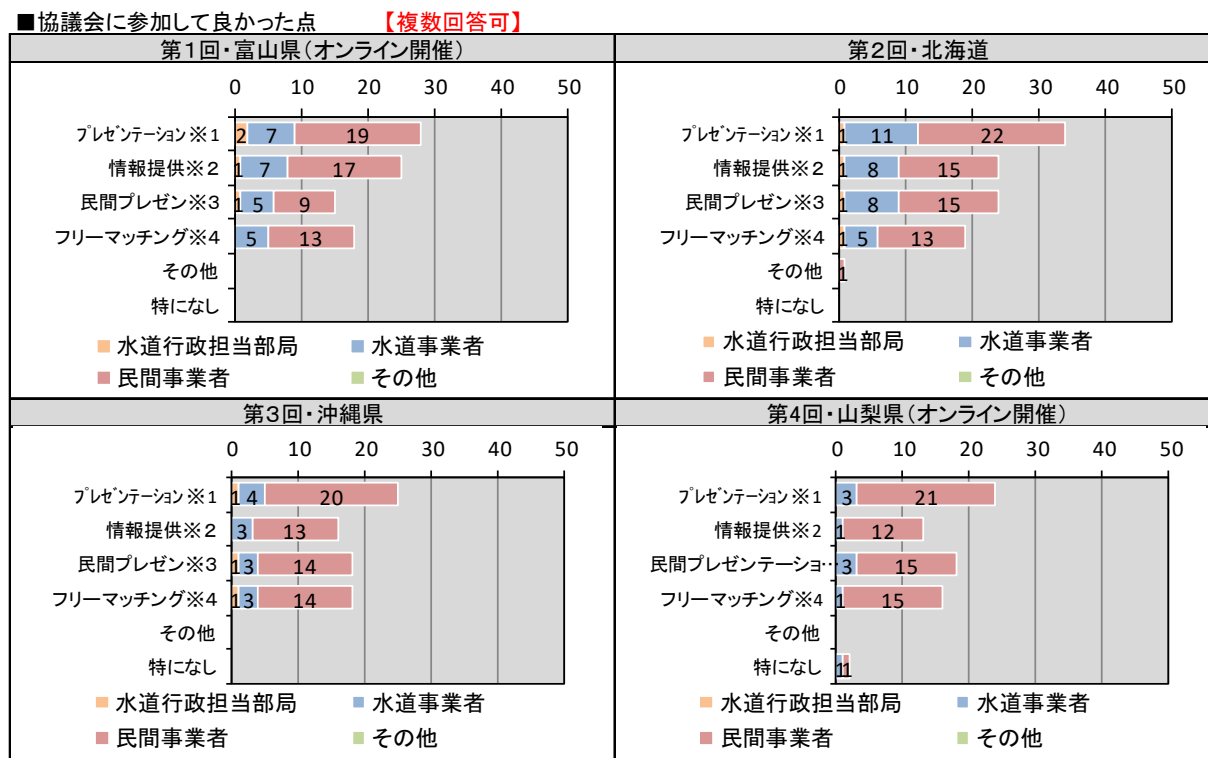


図 2.4 名刺交換の枚数

(4) 協議会に参加して良かった点（複数回答可）

協議会に参加して良かった点（4つのプログラム）を図 2.5 に示す。いずれの開催においてもプレゼンテーションを選択した回答が最も多い。協議会の特徴の一つであるフリーマッチングがやや少なくなっており、更なる改善が必要と考えられる。



※1 プレゼンテーションで、国、水道事業者、民間事業者の取組に関する最新情報が聞けた。

※2 情報提供で、参考となる意見が聞けた。

※3 民間団体のプレゼンテーションで参考となる意見が聞けた。

※4 フリーマッチングで意見交換や、情報を提供できた。

図 2.5 協議会に参加して良かった点

(5) 改善した方が良いと思う点（複数回答可）

改善した方が良いと思う点は図 2.6 に示すとおりであり、民間事業者によるプレゼンテーションやフリーマッチングを選択した回答が多かった。具体的な改善の内容（自由記述）を枠内に示し、概要を以下に述べる。

ゲストスピーカーによるプレゼンテーションについて、他と比べて意見は少なかったが、水道事業者や都道府県による官民連携の実例を紹介する時間を多くしてはどうかといった意見があった。

民間事業者によるプレゼンテーションについて、これまでは企業の自社 PR に関する内容が多数あったため、今年度は水道事業者の課題を踏まえて官民連携に関係した内容を記載いただくよう、開催案内の発出時に周知した。また、参加を希望する民間事業者が多数あったため、2グループに分けて1社当たり5分で実施した。現地開催（第2回と第3回）では、2グループが同じ部屋でプレゼンテーションを行ったため、声が聞き取りにくいといった意見や、両グループで同時進行となったため聴講したい発表が聞けなかった、発表時間を厳守してほしいといった意見があった。この他では、業種に応じてグループ分けをした方が選びやすい、資料を事前に配付しているのでプレゼンテーションの時間を短くしてもよいなど、様々な意見が寄せられた。協議会の進行上、民間事業者によるプレゼンテーションに振り分けられる時間には制約があるため、2グループに分けて実施することはやむを得ないが、その方法については改善の余地があると考えられる。

フリーマッチングについて、官民の交流を促す試みとして有効といった一定の評価は得られたが、もう少し時間を多く確保してもらいたい、水道事業者の参加が少ない、水道事業者が民間事業者を訪問する方式も考えてほしいなどといった意見や感想があった。このため、協議会全体の中での時間配分の再考や、水道事業者の参加をさらに促すといった工夫が必要と考えられる。運営方法に着目すると、現地開催（第2回と第3回）では、事務局側で対話時間を明確に管理していなかったこともあり、待ち時間が多く十分な対話ができなかった、オンライン開催のように事前に指名してはどうかなどといった意見があった。一方、Zoom のブレイクアウトルームを使用したオンライン開催（第1回と第4回）では、時間が短く希望の団体と会話ができなかった（1回当たり10分）、待機時間中は情報提供等をしていただけるとありがたい、最後に挨拶をする前に時間切れになってしまった、残り時間が分からなかった、フリーマッチングは対面の方が良いなどといった数多くの意見があった。オンライン開催でのフリーマッチングは今年度が初の試みであり、事務局側の操作方法に不慣れな点があったため、今後は更なる改善が必要と考えられる。

■改善した方が良いと思う点【複数回答可】

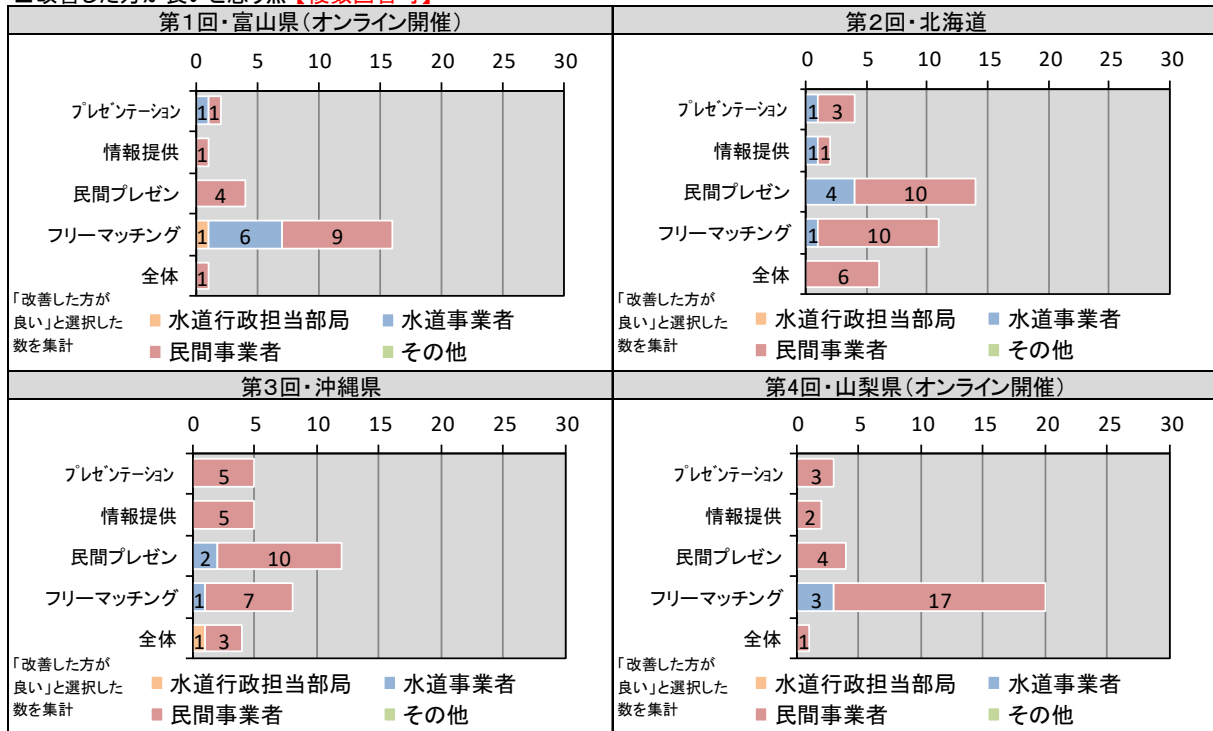


図 2.6 改善した方が良いと思う点

【改善した方が良いと思う点に関する自由記述】

■ 会場について

- ・会場が広大だったため、具体的な会議室の場所、行き方等、事前に簡単なアナウンスをいただいても過剰ではなかったように思った。〔民・沖縄〕
- ・会場のアクセスが悪かった。また、会場が狭く、民間事業者のプレゼンテーションは会場を分けた方が良いと感じた。〔官・沖縄〕

■ 情報提供について

- ・事前の情報提供がごく一部の事業者のみで、有効であるとは言い難い。〔民・北海道〕
- ・事業者の方の課題として、補助金拡充といった内容をお見掛けしたので、補助金の活用メニューに焦点を絞った情報提供もありではないかと考える。民間事業者としても別の場所で事業者の方へご紹介することがきっかけで、つなげていけたらと考える。〔民・沖縄〕

■ ゲストスピーカーによるプレゼンテーションについて

- ・プレゼンテーションは、水道事業者または都道府県の方が、官民連携の実例について紹介する時間を多めにとっていただくと、より実践的な内容になると思った。プレゼンしていただく方には負担になると思う。〔民・北海道〕
- ・プレゼンテーションは、水道事業者または都道府県の方が、官民連携の実例について紹介する時間を多めにとっていただくと、より実践的な内容になると思った。〔民・山梨〕

■ 民間事業者によるプレゼンテーションについて

○音声に関する意見・要望

- ・マイクの音量が小さく声が聞き取りづらかったので、資料の確認が多々あり、重要な点を逃していないか不安だった。〔民・沖縄〕
- ・2グループに分かれてのプレゼンスタイルであったが、両グループの声が重なり一部聞きづらいところがあった。〔民・沖縄〕
- ・2グループに分けたものの距離が近く、別グループのプレゼンテーションと声が被ることがあった。〔民・沖縄〕
- ・民間プレゼンテーションでの声が被って聞き取りにくい。会場全体が狭い感じがした。〔民・沖縄〕

○時間配分に関する意見・要望

- ・ 1社当たりの持ち時間が少なく感じた。興味のある会社へ直接行って、長い時間PR出来るようにした方が良いと感じた。〔民・富山〕
- ・ 片方のグループで進行に遅れが出たため、聞きたいプレゼンテーションを聞くことが出来なかった。2グループに分けるなら、時間厳守（強制終了等）するための策が必要と思われる。〔民・富山〕
- ・ 決められた時間内でプレゼンをしないと時間割がずれ、グループ間の行き来ができず、見たかったプレゼンが終わっていたりした。若しくは時間割がある以上、早く終わっても待っていてほしい。〔官・富山〕
- ・ 時間が守り切れていないところもあり、時間厳守となるよう、事務局側で区切りを入れていただきたい。〔民・富山〕
- ・ 民間のプレゼンは時間短縮、割愛して事業体との接触時間を増やすべき（民間は必ず事前の資料提供をしているので）。〔民・北海道〕
- ・ 民間事業者のプレゼンテーションは2分割されていたため、会場の間取りのせいか、プレゼンターの声が聞き取りづらく、また配分された時間も短いと感じた。できればプレゼンテーションは一題とし、その他は民間側のプレゼンテーションの時間を確保したほうが良いかと思う。〔民・北海道〕
- ・ 民間事業者によるプレゼンは5分間と短く、資料の内容を読んでいるだけの会社がほとんどであること、グループを2つに分けており、同時に進行していることもあってほとんど発表者が何を話しているのか聞き取れなかった為、不要と思う。〔民・沖縄〕
- ・ プレゼンテーションの時間で各民間事業者の方が、会社概要と企業取組を話されていたが、事前に資料等を配られていたため、発表時間を短くしてもいいと思う。〔官・沖縄〕

○進め方に関する意見・要望

- ・ グループAの進行に大きな遅れがあったため、聞きたい民間事業者のプレゼンテーションが聞けなかった。多少のズレは許容できると思うが、なるべく予定通りとなるよう進行管理をお願いしたい。〔官・富山〕
- ・ ブレイクアウトルームでのグループAとグループBでのプレゼンテーション資料の表し方が違っていたので、合わせたほうが良いと思う。〔民・富山〕
- ・ オンライン開催の場合、横書きの方が図や文字が見やすいと思われる。〔民・富山〕
- ・ プレゼンテーションの後、当日議論することが無いようであれば、事前に録画したものを放映（個別に視聴）するような方式も検討頂ければ幸いである。民間事業者のプレゼン後、事業体へのアンケート（各社への関心度等）を実施して、その結果により、マッチングや後日対面でのフォローに活用できれば次につながっていくと考える。〔民・富山〕
- ・ 2グループに分けたプレゼンは良かったが、業種区分（EPC・O&M等）ごとに分けた方がグループを選びやすいと思う。〔民・北海道〕
- ・ プレゼンターにモニターが必要だと思う。2グループで音声がかかるのでこの説明かわからなくなるところがあった。〔民・北海道〕
- ・ 民間事業者のプレゼンテーションは1社当たりの時間が短く、やや物足りないと感じた。机や席の配置換えが頻繁で、全体的に進行がやや慌ただしいと思われたので、次回以降改善願いたい。〔民・北海道〕
- ・ チーム分けされると被ってしまい、聴講出来なくなる可能性がある。〔民・北海道〕
- ・ 時間の関係で仕方がないものと理解したが、ブースが2つに分かれると聞くことができない事業者も出てくるため、残念だと感じた。〔民・北海道〕
- ・ 1社の時間が短く、こちらから質問する時間がほぼ取れなかったため、事前に予約制にするなど1社との時間を長くし、お互いに協議できるものにしてほしい。〔官・北海道〕
- ・ 興味ある内容のプレゼンが別グループ（会場）で同時に行われており、聞くことが出来なかった。（時間的制約等あるので、改善は希望しない。）〔官・北海道〕
- ・ プレゼンの持ち時間が5分と短いので慌ただしく内容も資料で確認できるものなので、資料に対する質問を事前や当日に受付けて、それに民間事業者が答えるという場にしてはどうか。〔官・北海道〕
- ・ 事業者数が多いため、2ヶ所に分けてプレゼンを行うのはやむを得ないと思うが、どこの事業者がプレゼンを行っているのかわかりづらかったことから、アナウンス方法について改善した方が良いのではないかと感じた。〔官・北海道〕
- ・ 声が錯綜して聞き取れなかった。会場を分けたほうが良い。PowerPointによるプレゼンテーションにしてもらいたい。〔民・沖縄〕

- ・民間プレゼンの実施方法について、待機場所や持ち時間の目安等の簡単な情報についても資料に記載しておいていただけると、より周知が捗るようになった。〔民・沖縄〕
- ・1つの部屋で2箇所のプレゼンテーションをされたので聞きづらかった。〔官・沖縄〕
- ・分けた2グループの発表者が向かい合う配置であったため、両者の声が混在し聞き取りづらく、配置もしくは実施方法について改善の余地があると思う。〔民・沖縄〕
- ・場所の制約もあり仕方ないことは重々承知しているが、プレゼンテーションの際、1つの会場をパーティーションで仕切り2箇所でプレゼンすると、音声混じり合い聴取し辛いと感じた。このような条件下ではプレゼン時間をフリーマッチング等に割り振り、そこで説明しても良いかと思う。〔民・沖縄〕
- ・収録動画の放送をする。〔民・山梨〕
- ・前半のプレゼンテーション、情報提供は事業体のみ参加が良いと思う。〔民・山梨〕
- ・民間事業者のプレゼンテーションは事前録画（事前の拝聴可）にするなど、民間事業者はマッチングをメインにさせていただきもう少し時間を確保していただければと思う。長時間の拘束回避を検討いただければと思う。〔民・山梨〕
- ・グループ単位での発表ではなく、民間事業者ごとに時間割を設定し、水道事業者や民間事業者が個別に希望する民間事業者のプレゼンテーションを聴講できる形でも良いかと思う。〔民・山梨〕

■ フリーマッチングについて

○時間配分に関する意見・要望

- ・10分は短い。〔民・富山〕
- ・コロナ禍対応で致し方ないことであるが、やはり対面でないと時間的な制約等もありなかなか難しいと感じた。〔民・富山〕
- ・フリーマッチングの時間が短時間であるため、できれば20分程度の時間は確保してほしい。〔民・富山〕
- ・オンライン開催の課題であるが、マッチングの際、制限時間がわからず途中で意見交換が終了となる事態が大半であった。制限時間をわかりやすく画面表示できるように、または1クール毎にスタート時間を共通化できればよかったと思う。（事務局でスタート時間を宣言するとか）〔官・富山〕
- ・残り時間をもう少し明確にもらえるとうよかった。（表示を大きくする、残り1分のアナウンスなど）〔民・富山〕
- ・1社当たりの時間が短かすぎて、話ができなかった。8社連続でのマッチングは多すぎる。マッチングの数を少なくし、話をする時間を長くしてほしい。官民ともに希望していないマッチングがあった。（営業で来ている人と話をした。）〔官・富山〕
- ・フリーマッチングは大変貴重な時間でありがたい。是非ともこの時間を拡大できるようお願いしたい。〔民・北海道〕
- ・フリーマッチングはスタート時以降も時間制限を設けるべき。長時間話している業者が多く待ち時間がほとんどで少数の事業体としか話せなかった。〔民・北海道〕
- ・水道事業体とのフリーマッチングの時間が少ないと感じた。事前予約やマッチングなどで、より多くの水道事業体と意見交換・名刺交換させていただける機会を設けていただければありがたい。〔民・沖縄〕
- ・多くの事業体と面談できるフリーマッチングは民間事業者にとって貴重な時間でありがたい。是非ともこの時間を拡大できるようお願いしたい。（1時間⇒1.5時間程度）。フリーマッチングの10分間/1社は適切と思うが、事務局による進行管理の徹底をお願いしたい。〔民・沖縄〕
- ・十分な時間が取れないため、全体の時間配分を調整してフリーマッチングに重点を置く。マッチング時間に差が出るため、テーブルごとのタイマー制。〔民・沖縄〕
- ・フリーマッチングの時間が10分では短いため、プレゼンの時間を削ってそちらにあてたほうが良いと思う。民間事業者によるプレゼンテーションは、資料を配布しており、行う必要がないと考える。〔民・山梨〕
- ・フリーマッチングのクール間の時間が短く、次に話す水道事業者との資料用意の時間が少し足りなかった。5分ほど間の時間が必要かと感じた。〔民・山梨〕
- ・民間事業者側にも残り時間のカウントがあるとよいと思う。〔民・山梨〕
- ・残り時間の表示を希望する。〔民・山梨〕
- ・「フリーマッチング」に関して、Webという限られた条件での開催でやむを得ないと思うが、もう少し時間がほしい。〔民・山梨〕

- ・ 時間切れで途切れてしまうことがあったため、残り時間がわかるような工夫ができるか、もしくは予定時間をもう少し長くとっていただきたかった。水道事業者の参加数が民間事業者に比べて少ないため、次回開催の際はより多くの水道事業者に参加いただけるよう周知いただけると嬉しい。〔民・山梨〕
- ・ オンライン開催でのフリーマッチングにおいては、制限時間の認識はあったものの、会話に集中してしまい途中で通信切断になってしまったマッチングが複数あった。最後に挨拶が出来る時間があれば良いと思った。〔官・山梨〕
- ・ ウェブで与えられた時間（10分間）では踏み込んだ会話まで辿りつくのに難がある。〔民・山梨〕
- ・ フリーマッチングの時間が足りなく、水道事業者からの質問にすべてお答えすることができなかつた。もう少し余裕があると良いと思う。〔民・山梨〕
- ・ フリーマッチングの時間を増やし、マッチングの数を増やしてほしい。（今回は1社あたり2～3水道事業者）。その分、民間事業者によるプレゼンテーションをやめてもよい。〔民・山梨〕

○進め方に関する意見・要望

- ・ 相手方の通信状況の問題により対話ができなかつた。問題解決後にマッチできるよう、予備の枠を設けて頂きたかった。〔民・富山〕
- ・ フリーマッチングではこちらが持つ課題や問題点について事例などを交えながら対話をして頂き、有意義なものであったと感じるが、民間事業者の中にはこちらが持つ課題等について対話することができないこともあった。こちらが持つ課題等と民間事業者が持つ知識や経験をすり合わせて頂いた上でマッチングして頂いた方がより良い対話となると思う。〔官・富山〕
- ・ 私の Zoom に対する理解が低く、アプリに表示されていた残り時間に気が付かず、ご挨拶も出来ないまま打合せが終了してしまつた。終了予告は無い旨を冒頭で説明頂けるとありがたい。〔民・富山〕
- ・ 参加できない時間帯のフリールームにて、情報提供等を行つたらどうか？ また、フリーマッチング参加者間の名刺交換に変わる情報提供（メールアドレス等連絡先）をしてもらえるとう有意義。〔民・富山〕
- ・ 口頭でも構わないので、マッチングの開始のタイミングを通知していただければと思う。終了時には同じく終了の旨を継続的に発信をお願いできれば、参加者側としては状況が伝わり、待機もしやすく思う。〔民・富山〕
- ・ フリーマッチングはできる限り対面を希望。現地開催の検討を是非お願い致したい。〔民・富山〕
- ・ 通常の会議方式と比べ、オンライン開催だと日程調整を図りやすく比較的参加しやすいため、通常の会議方式に戻つた際も、オンライン開催と選択できるような開催方法を検討していただけると非常にありがたい。〔官・富山〕
- ・ プレゼンテーションの後、当日議論することが無いようであれば、事前に録画したものを放映（個別に視聴）するような方式も検討頂ければ幸い。（フリーマッチング時間の拡大、全体時間の縮減等の効果等）〔民・富山〕
- ・ フリーマッチングの民間事業者の中には、プレゼンに参加されていない事業者もあり、どのような取組をされているか分からないため、進行が難しかったり、会社説明だけで時間の多くを費やしてあまり話ができない事があつた。〔官・富山〕
- ・ フリーマッチングで Zoom の接続が切れてしまつた事業者がいた場合は、全体の進行に支障が出るので、再接続を待つことなく進行したほうが良いと思う。（再接続に時間を要してしまい、大変ご迷惑をおかけしました。）〔官・富山〕
- ・ フリーマッチング自体は大変有意義であつたが、経過時間がタブレットをタップしないと表示されなかつたため、お礼や約束もできず突如終了となつてしまつた。当方の Web の接続状態等により意見交換ができない時間帯が発生してしまつた。〔民・富山〕
- ・ 時間制限の区切りについて、弊社含め順守できなかつたため、明確にわかりやすい合図があれば良いと感じた。案として、Web 上で実施したような形で事前にマッチング先と時間を決定しておくとうスムーズかと感じた。マッチング先はプレゼン後に変更も可、といった形もありかと考える。また、マッチング前に帰られてしまつるとマッチング先が少なくなつてしまつたので、なるべく避けていただければと思う。〔民・北海道〕
- ・ 関心のない事業体でも残つて気軽に話ができる雰囲気や流れを作つて欲しかった。〔民・北海道〕

- ・当日いらっしゃった水道事業者の内、半数がフリーマッチングに参加されていなかった。また、参加していた水道事業者の中にはフリーマッチングの存在を知らなかったため、事前に集計した課題を空欄で回答したと仰っていた方もいらっしゃった。事務局からしっかりアナウンスして頂き、官民双方にとって充実した時間にしていければと思う。〔民・北海道〕
- ・事前にマッチング相手を指名してみてもいいか。（希望制）帰ってしまう事業体もあった。〔民・北海道〕
- ・フリーマッチングは民間事業者に比べ、水道事業体が少なかったため、参加希望者が増えることを期待する。〔民・北海道〕
- ・特定の水道事業体に人が集中していた印象がある。事務局にて誘導するなどした方が良いように感じた。〔民・沖縄〕
- ・水道事業者の参加が少なかったので残念。〔官・沖縄〕
- ・民間事業者のプレゼンテーションは、パワーポイント等のスクリーン映写などを使用させていただくと、システムデモや動画等の再生が可能で、より効果的なプレゼンが実施できると思う。〔民・沖縄〕
- ・フリーマッチングは、非常によい仕組みと思う。会場で事務局様から十分案内いただきましたが、弊社が訪問を計画していた事業者様がフリーマッチング前にお帰りになり、残念だった。プレゼンテーションやフリーマッチングの順番を工夫していただくことで好転する可能性も感じた。〔民・沖縄〕
- ・10分間という限られた時間なので、事業体からマッチング希望を頂けた場合には、事前に所望されるポイントをヒアリングできる機会を頂けるとありがたい。〔民・山梨〕
- ・フリーマッチングできた事業体とは、再度打ち合わせを希望すべく連絡先の交換をさせて頂きたい（名刺交換の替わり）。〔民・山梨〕
- ・こちらから提出した課題への回答が可能な方、もしくは興味のある方とのマッチングがあれば良いと思う。フリーマッチングにおいて、希望した全ての民間事業者とマッチングできるようにしていただきたい。〔官・山梨〕
- ・実際に会話をしていると内容によっては時間の流れを忘れてしまうこともある。特に、第1クールのマッチングでは、勝手にわからず制限時間を超えてしまった方が多かったのではないかとと思われる。以上のことから、設定時間の表示拡大または、残り時間を事務局からアナウンス（残り2分もしくは1分）していただきたい。〔民・山梨〕
- ・水道事業体の参加者が少なく、民間事業者のマッチング数が少なかった。〔民・山梨〕
- ・オンライン開催になったことから、地域の縛りをなくして全国の特に小規模水道事業者に声をかけて頂ければ良かったのではと思った。〔民・山梨〕

(6) 課題調査票の活用方法（民間事業者のみ回答）

参加申込の段階で水道事業者から事前に回収した課題調査表について、フリーマッチングにおいて有効であったとの回答が最も多い。課題調査票の活用方法は図 2.7、具体的な活用方法（自由記述）は枠内に示すとおりである。

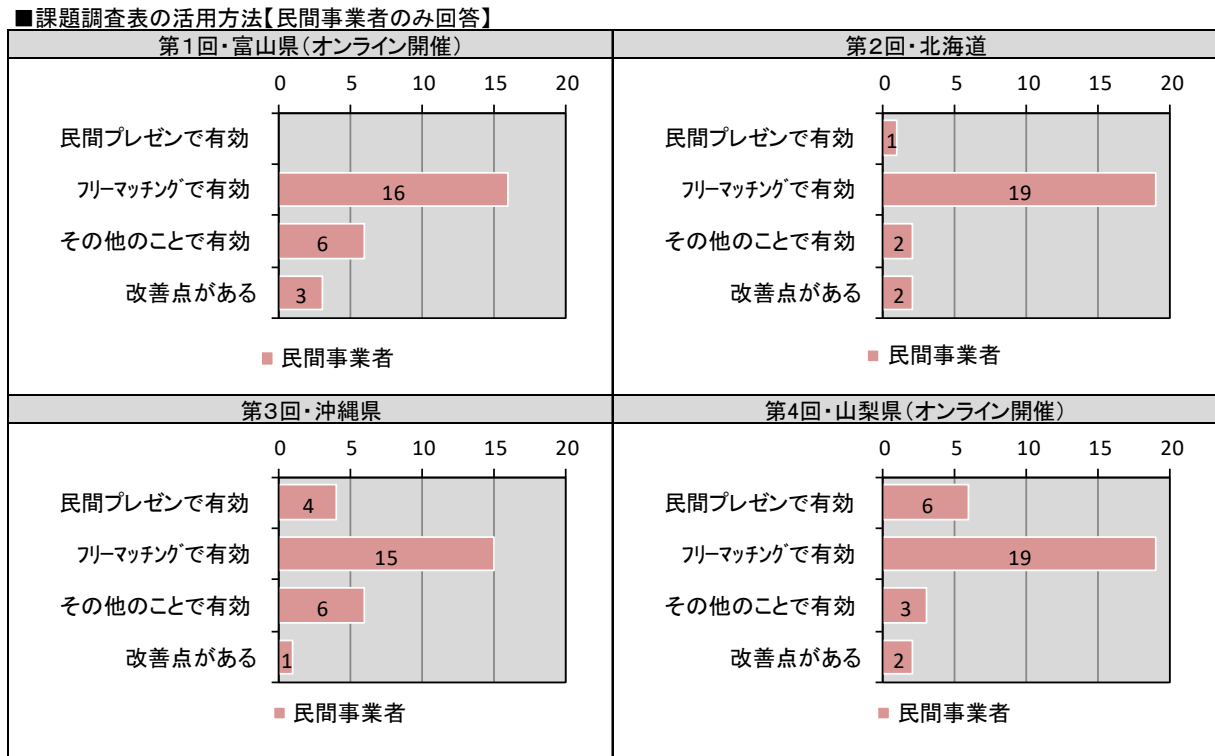


図 2.7 課題調査票の活用方法

【課題調査票の活用方法に関する自由記述】

■ プレゼンテーションへの活用

- ・他の水道事業者が抱える課題や現状を踏まえて、プレゼンテーションを聞くことができた。〔官・富山〕
- ・お客様の動向にあったご提案資料を作ることができた。〔民・富山〕
- ・民間事業者のそれぞれの取組を、各水道事業者の課題と照らし合わせて聞くことができた。〔官・北海道〕
- ・資料作成、プレゼン等の際し、どのようなニーズが想定されるかの参考にさせてもらった。〔民・沖縄〕
- ・共に各事業者の課題に対し、当方が提案できるプレゼン内容の準備、カタログの準備に活用できた。〔民・沖縄、山梨〕
- ・今後の営業活動資料に利用したい。〔民・山梨〕

■ フリーマッチングへの活用

- ・フリーマッチングの対象者の疑問点、質問が事前の予測出来たので準備ができた。〔民・富山〕
- ・話す内容の事前準備に活用した。〔民・富山〕
- ・フリーマッチングの際に、事前に事業者の課題を知り、技術者に同席を依頼することができた。〔民・富山〕
- ・フリーマッチングにおいて、事前に水道事業者の課題を知っておくことで、短い時間を有効に活用できた。〔民・富山〕
- ・フリーマッチングの際に、記載されている課題に関して意見交換を行った。〔民・富山〕

- ・ 事前に課題を把握し、解決のために弊社が保持している技術を提案することができた。〔民・富山〕
- ・ フリーマッチングのエントリーを判断するのに活用した。〔民・富山〕
- ・ 事前に課題が分かることで、準備が効率的に出来ると感じている。〔民・富山〕
- ・ 課題が事前に判り、的確なフリーマッチング希望を出すことが出来た。〔民・富山〕
- ・ 各水道事業者の課題を拝見できた。ただ、弊社でご提案にできる内容が無かったのでフリーマッチングには不参加。〔民・富山〕
- ・ 話の導入や、内容の確認の際に有効であった。〔民・富山〕
- ・ マッチング希望を設定する際、それぞれどのような話題をもって臨もうとしているかを参考にした。また、その際こちらから提供できる情報を事前に準備することにも活用した。〔民・富山〕
- ・ 当日のフリーマッチング、今後の営業活動に活用。〔民・富山〕
- ・ フリーマッチングの会話のきっかけとして有効に活用することができた。〔民・富山〕
- ・ 課題調査票の提示いただいたことで、課題に則した提案内容を事前に準備することができた。〔民・富山〕
- ・ 各事業者の課題点の確認に使用している。〔民・北海道〕
- ・ 各水道事業者の課題に対する取り組みについて記載されているので、当協会の事業目的とリンクする水道事業者を選定することが出来た。〔民・北海道〕
- ・ フリーマッチングの際にどこの事業者と話をするのかの判断材料となる。また、話を切り出すきっかけとなる。〔民・北海道〕
- ・ 事前にこちらの資料を拝読させていただき、水道事業者さまの課題について把握することができた。フリーマッチングの際のヒアリングを深めることができた。〔民・北海道〕
- ・ 課題を参考にフリーマッチング及びその後の営業における有効な提案に活用した。〔民・北海道〕
- ・ 水道施設及び工業用施設の更新・耐震化について寄せられた課題の中で弊社で協力・提案できるものがないかを検討することができた。〔民・北海道〕
- ・ 事前にどの様なことに興味を持っているのか知ることができた。〔民・北海道〕
- ・ 水道事業者の抱える課題について、事前に確認することができ、弊社側で提案が可能な事業者へアプローチするきっかけとして活用した。〔民・北海道〕
- ・ 全ての事業者と打ち合わせる時間は無かったので、面談を申し込む参考にした。〔民・北海道〕
- ・ 事前に調べて対応することができた。〔民・北海道〕
- ・ 弊社は主に浄水機械設備を担う企業のため、浄水場に関する課題を抱える事業者に対して我々の取り組みを説明することに役立てようとした。〔民・北海道〕
- ・ 事前に課題に対する提案を準備して、フリーマッチングに臨むことができた。〔民・北海道〕
- ・ 課題を把握した上でマッチング先の選定に活用した。〔民・北海道〕
- ・ 民間事業者の方で質問に対する回答を用意して頂いていたので、それに対する提案等が聞けて今後の参考になった。〔官・北海道〕
- ・ 企業との情報交換を行う上で、道内の事業者が抱える課題について情報共有を図ることが出来たことにより、一般的な課題説明の時間が省かれ、本題に入りやすかった。〔官・北海道〕
- ・ 当該事業者の課題が記載されているので、フリーマッチングの話題、協議内容として有効であった。〔民・北海道〕
- ・ フリーマッチングの際の事前情報として活用した。〔民・北海道、沖縄〕
- ・ 社内での情報共有及び、自社で行える水道事業者への営業方法が明確になった。〔民・沖縄〕
- ・ 具体的な課題を把握できた。〔民・沖縄〕
- ・ 各水道事業者の課題を把握し、民間事業者がどのような形でお手伝いすることができるか考えるきっかけとなった。〔民・沖縄〕
- ・ 弊社は、宜野湾市における包括委託で業務を受託しているが、課題一覧に「包括委託について調査中」との水道事業者に対して、スムーズかつ効率的なアプローチができた。〔民・沖縄〕
- ・ 課題調査票は、事業者の官民連携に関する考えを事前に把握する事が出来て、フリーマッチング等で対話する際に大変有効な資料となっている。〔民・沖縄〕

- ・ PPP や広域連携に関する取り組みや水道施設及び工業用水道施設の更新・耐震化等に関する各事業体様の課題が事前に把握でき、弊社にとってその課題解決に対してどういった役割りを果たせるか等の検討材料となった。〔民・沖縄〕
- ・ 当日までにヒアリング項目を整理できるため。〔民・沖縄〕
- ・ フリーマッチング及び今後の各事業体ごとに向けた提案に活用。〔民・沖縄〕
- ・ フリーマッチングで弊社の提案がマッチする優先すべき事業者を選べた。〔民・沖縄〕
- ・ どの水道事業者等から順番に会話させていただくか、また、その内容等を考える際の参考にさせていただいた。〔民・沖縄〕
- ・ フリーマッチングのアプローチ先の検討において参考にした。〔民・沖縄〕
- ・ フリーマッチングの際の事前情報として活用させてもらった。〔民・沖縄〕
- ・ マッチングの際の議論の進め方等を事前に検討することができた。〔民・富山〕
- ・ 弊社は主に浄水機械設備を担う企業のため、浄水場に関する課題を抱える事業者に対して我々の取り組みを説明することに役立てようとしていた。〔民・北海道、沖縄〕
- ・ マッチング先選定の際に活用した。〔民・沖縄、山梨〕
- ・ 各事業体の課題に対し、当方が提案できるプレゼン内容の準備、カタログの準備に活用できた。〔民・沖縄〕
- ・ 各水道事業者様の状況が把握出来た。〔民・沖縄〕
- ・ 事前に課題が分かる為、短い時間でポイントを絞った提案が可能。〔民・沖縄〕
- ・ 予め課題を提供いただいたことにより、フリーマッチングの際に解決の一助となるよう製品・工法を提案が出来た。限られた時間である為、大変有効的だったと思う。〔民・山梨〕
- ・ 時間が限られる中で事前に課題が提出されていたため、事業者からの質疑応答に役立った。（該当は1事業者）〔民・山梨〕
- ・ 具体的な問題点や、検討事項について話をする事が出来た。〔民・山梨〕
- ・ 事前にこちらの資料を拝読させていただき、水道事業者の課題について把握することができたのでフリーマッチングの際のヒアリングのきっかけになった。〔民・山梨〕
- ・ 各事業体の課題が具体的に記載されていたため、課題解決に向けた弊社の提案などの有意義な話し合いが出来た。〔民・山梨〕
- ・ 事業者とのマッチングの際、活用することができた。〔民・山梨〕
- ・ 事前にどういう課題があるのかが分かるため、準備が出来た。〔民・山梨〕
- ・ マッチングの水道事業者選定に活用できた。〔民・山梨〕
- ・ 課題一覧を元に、効率よくマッチング時の会話が出来た。限られた時間の中でも、水道事業者と可能性を見出せたと思う。一から課題を確認していたら、制限時間に間に合わなかったと思う。〔民・山梨〕
- ・ 事前に課題調査票を提示いただいたことで、内容を絞り込み、多くの会話をする事ができた。〔民・山梨〕
- ・ フリーマッチングの事前に、事業者の問題意識を確認するのに利用した。〔民・山梨〕
- ・ フリーマッチング（希望をあげる）に有効。〔民・山梨〕
- ・ 事業者様の問題点など、会話の切り出しに活用した。また、事業者の課題がもう少し具体的であればと思う。〔民・山梨〕
- ・ 事前に課題に対する提案を準備して、フリーマッチングに臨むことができた。〔民・山梨〕
- ・ フリーマッチングの際の話のきっかけになった。〔民・山梨〕
- ・ お客様の課題に沿ったプレゼンテーションの資料作成やフリーマッチング時の切り口として活用した。次回以降も継続して頂けると幸い。〔民・山梨〕
- ・ フリーマッチング希望先の選択において参考になった。〔民・山梨〕

■ 改善した方が良い点

- ・ エンドユーザー側が訪問を必要か不要かの記載する部分があると良い。〔民・富山〕
- ・ 各水道事業者の水道ビジョン等を収集し、事前に内容を確認したうえで、マッチングに臨んでいる。水道事業者の課題一覧は、もう少し、具体的な記述があった方がよいと思う。〔民・北海道〕
- ・ 課題を記載していない事業者もあるので、興味がある項目に○をつける欄があっても良いと思う。〔民・北海道〕
- ・ 事前に配布された課題には載ってなかった（空欄で提出した）事業者が多いと感じた。もっと回答を得られるような工夫をお願いしたい。質問項目と回答項目が少しずれている（ずれを承知で記入している）と感じるところが多かった。質問内容を再検討して頂くこともお願いしたい。〔民・北海道〕

- ・フリーマッチングの際にはいくつかの事業者が資料を基に利用はしていたものの、そこに拘る必要は感じられなかったことから、課題一覧の設問内容を見直した方が良いのではないかと感じた。〔官・北海道〕
- ・フリーマッチングの時間が短い為、課題をもう少し詳細に書いて頂いた方が有意義な会話が出来ると思う。〔民・山梨〕
- ・今回、面談の制限時間をオーバーした為、強制退室となったが、面談途中であった為失礼な形で終わってしまい、連絡しようと思ったが連絡先が判らず困った。先方の Mail アドレスだけでも判れば有難かった。（今回は自社の営業担当者に確認し、連絡済み）〔民・山梨〕

■ その他

- ・今後、公民連携の提案を行う際にエンドユーザの考え方が垣間見れたので提案活動に活用したい。新型コロナが落ち着き、県間移動が再開された際に訪問する際の参考となる。〔民・富山〕
- ・水道事業者の課題感を把握することができ、弊社の想定している課題感とミスマッチが無いか確認できた。〔民・富山〕
- ・水道事業所が抱える課題が共有され、今後の提案などへの糸口となった。〔民・富山〕
- ・各事業体の課題は様々であり、当社も水道事業に携わっていく中で取り組んでいかなければならない方向性の参考資料となった。〔民・北海道〕
- ・水道事業者の課題や意識を理解する上で参考になった。〔民・北海道〕
- ・他事業者の課題を共有することができて、対応策等について今後の参考にできることもあるかと思う。〔官・北海道〕
- ・他事業体の課題を確認することができた。〔官・北海道〕
- ・他市町村の課題から学ぶことができた。〔官・北海道〕
- ・どのような課題があるのかの確認。〔官・北海道〕
- ・他水道事業体における課題点だけではなく、各種取り組み状況を知ることが出来た。〔官・北海道〕
- ・広域連携を考える上でも、他の事業体の課題は参考になった。〔官・北海道〕
- ・他水道事業者の課題について情報を得ることができた。〔官・北海道〕
- ・水道事業者の名称、課題点と考える部分が記載されていたため、規模に応じた内容も確認することができ、改めて自身の課題点を見直すきっかけともなり、有意義なものと感じた。〔官・北海道〕
- ・道内水道事業者の現状について把握する上で大変参考になった。〔官・北海道〕
- ・市町村が抱える課題を知ることができた。訪問営業の際に、各市町村に合わせた提案をした。〔民・沖縄〕
- ・今後、どのような方向に進めばいいか羅針盤として活用していきたい。〔民・沖縄〕
- ・来年度以降、プレゼンテーションの内容や民間事業者として取り組むべきテーマの参考になった。〔民・山梨〕
- ・回答が少ないことから民間事業者に比べ水道事業者側の意識の低さを実感することが出来た。特に山梨県内からの参加事業体が少なく、県営水道が存在しないとしても山梨県としての積極性も感じられなかった。小規模な事業体が多いことも要因か考える。〔民・山梨〕
- ・事業体担当者からみる課題として勉強になった。〔民・山梨〕

(7) 今後取り組みたいまたは取り組む予定のある官民連携手法

オンライン開催である、第1回と第4回では、水道行政担当部局と水道事業者を対象として、今後取り組みたいまたは取り組む予定のある官民連携手法について質問した。その結果を図 2.9 に示す。

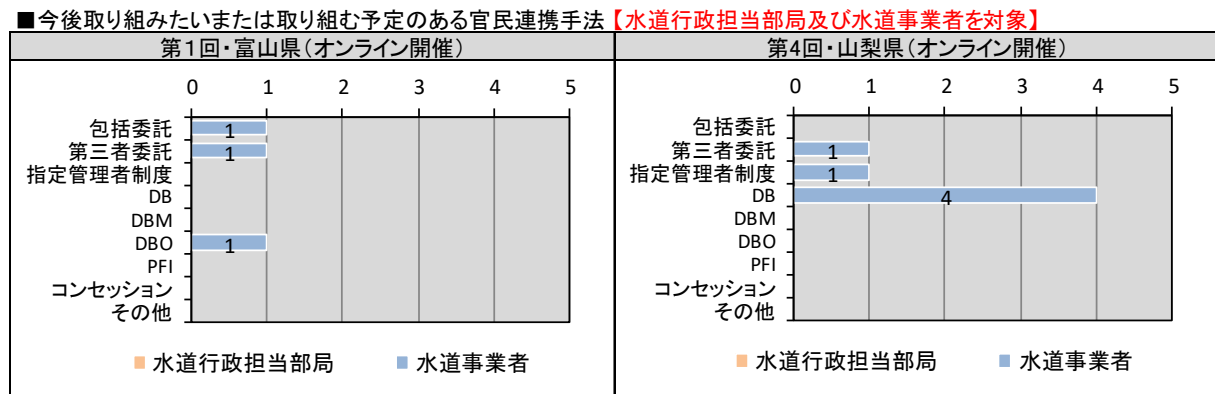


図 2.8 今後取り組みたいまたは取り組む予定のある官民連携手法

(8) 今後の情報交換の継続に対する意思

情報交換等の継続に対する意思は図 2.9 に示すとおりであり、官民ともに継続を考えている団体が大多数を占めているが、「考えていない」という回答もあった。

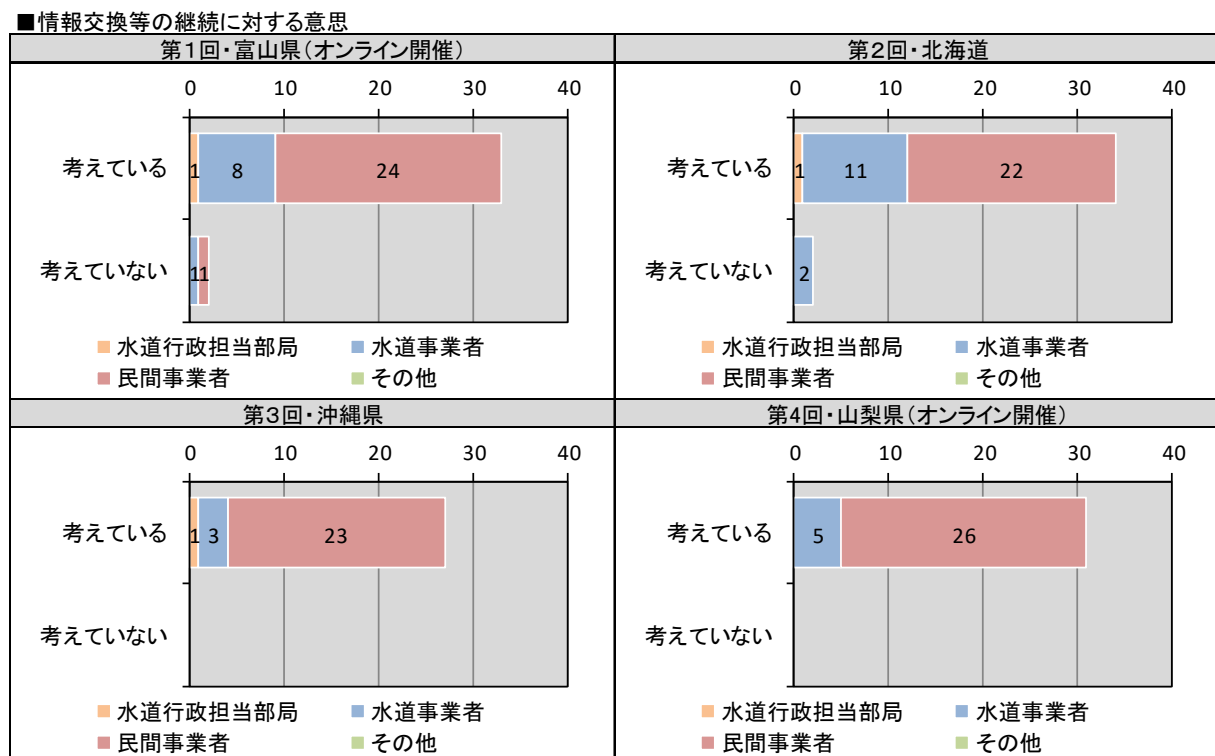


図 2.9 情報交換等の継続に対する意思

(9) 今後の協議会参加への意思

今後の協議会への参加への意思は図 2.10 に示すとおりであり、今後も参加したいという回答が大多数であった。

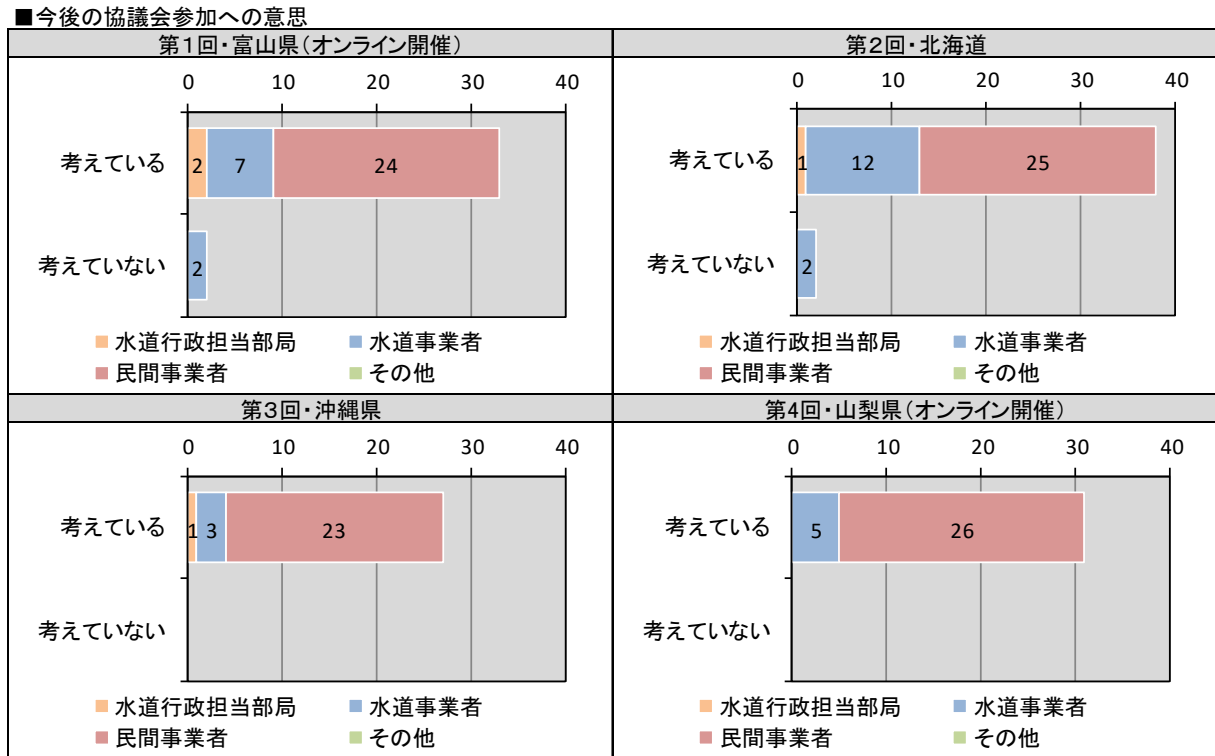


図 2.10 今後の協議会参加への意思

(10) 協議会に対する提案・要望・意見等

協議会に対する提案・要望・意見等（自由記述）を枠内に示す。

【協議会に対する提案・要望・意見等に関する自由記述】

■ **開催方法について**

○現地開催とオンラインの併用

- ・フリーマッチングには参加してないが、特段支障なく協議会の内容を視聴することができた。通常の会議方式と比べ、オンライン開催だと日程調整を図りやすく比較的参加しやすいため、通常の会議方式に戻った際も、オンライン開催と選択できるような開催方法を検討していただくと非常にありがたい。〔官・富山〕
- ・オンライン開催であれば会場や距離に関係なく参加できるので、実会場での開催であってもウェブ参加との併用ができれば、プレゼンテーションや情報提供は聴講できるのでありがたい。〔官・富山〕
- ・今後、プレゼンテーションのみ希望者はWebで、フリーマッチングまで希望する場合は会場で参加と選択肢を増やす方法も有益と考える。〔民・富山〕
- ・現地開催のように、多くの方と直接コミュニケーションを取ることは出来ないデメリット、時間と費用面で気軽に参加が出来るメリット、このメリット・デメリットの双方を強く実感した。新しい試みで、本当に様々な準備が必要だったと感じている。今後についても、現地開催とリモート開催が適時に実施されていけば良いなと考えている。〔民・富山〕
- ・発表などはWebでよいかも。しかし、フリーマッチングは対面で顔色などうかがいながら行うのがベストだと思う。〔民・沖縄〕

○現地開催の希望

- ・ コロナ禍のため、さまざまな場面でオンライン開催が増えていることもあり、スムーズに対応・聴講できた。一方で、プレゼンテーションに関する反応は、対面の方がより直接的となることから、アフターコロナやウィズコロナとして、今後は対面にて開催されることを祈念したい。〔民・富山〕
- ・ トラブル等はつきものであるため、オンライン開催に対する特段の不满等はない。一方、フリーマッチングのような対話形式のプログラムは、対面実施の方がコミュニケーションがとりやすい側面はある。各自が感染防止対策を徹底することで、次回以降の現地開催を実現していただきたい。〔民・富山〕
- ・ 対面での開催、非常に感謝致したい。今後とも厳しい状況が続くとは思いますが、現地開催が継続できるようにしていただければと思う。〔民・北海道〕
- ・ 新たなメニューの提案はないが、より多くの水道事業体に参加頂ければ幸いである。また、主催者様も仰っていたが、可能であれば実面会式がありがたいと思う。〔民・山梨〕
- ・ フリーマッチングは対面が望ましい。〔民・山梨〕
- ・ 求めていたのは課題に対して率直な意見をお聞きしたかったので、Web 会議より、実際に対面しての会話が望ましい。〔官・山梨〕
- ・ 今回はウェブ形式であったこともあり、フリーマッチングへの参加を控えた。対面形式であれば是非参加したいと考えている。〔民・山梨〕
- ・ 今回は Web での開催に参加させて頂いたが、対面であれば資料を直接見せながら民間の提案説明などが出来るため、意思の疎通がしやすいのではないかと考えている。〔民・山梨〕

○現地開催の配信

- ・ プレゼンテーションについては、特に問題なかった。コロナ終息後は会場での開催となると思うが、可能であれば配信等を行ってほしい。〔官・富山〕

○その他

- ・ 昨年度からの Web 開催、今回の Web フリーマッチングの経験を踏まえ、従来参加が難しい小規模水道事業者向けに、例えば、年3回のリアル協議会と年1回の小規模事業者等向けの Web 協議会等があっても良いと思われる。〔民・富山〕

■ 運営方法について

○時間配分

- ・ フリーマッチングがあるとはいえ、プレゼン時間 5 分は短いと思う。全体の時間を長くした方がよい。回を重ねているため、ほぼ参加している民間事業者が固定されていて新味がない。〔官・北海道〕
- ・ 現地開催で事業者様と個別対話の機会は非常に有意義であった。会場のセッティング、動線、ゾーニングを明確かつ、余裕を設けていただけると、この情勢下においても継続的な開催につながれるのではないかと感じた。また、時間のメリハリがあったほうが良いと思う。〔民・北海道〕
- ・ まず、メインイベントであるフリーマッチングの時間配分が大変短く、双方の意思疎通が確認できないまま打ち切られていた。これでは、折角のマッチングタイムが不十分であり、半日で多くのメニューを詰め込み過ぎている感がある。フリーマッチングの各クールは最低 20 分程度必要かと考えている。〔民・山梨〕

○交流方法

- ・ 官民連携手法を導入された事業者の事例（導入にあたって検討した事項など）を知りたいので、水道事業者と民間事業者のマッチングだけでなく、水道事業者同士がコミュニケーションをできるような機会があればよいと思う。〔官・富山〕
- ・ 自治体同士の意見交換の場もあると良い。（先進事例や業務状況、課題等の情報交換など）・ 国交省のような懇親の場もあると良い。自治体内でも経営・企画サイドと現場サイドで知識や取り組みに関する温度差が激しく、特に現場サイドでは他都市の先進的な取り組みに触れる機会が少ない。（他都市の運営方法に興味もない）〔官・富山〕
- ・ 会場の大きさに制限があるが、事業者、民間の双方で興味のある課題を出し合い、水道展のようなブース形式でも情報交換ができると良い。継続的な開催につながれるのではないかと感じた。また、時間のメリハリがあったほうが良いと思う。〔民・北海道〕

○情報提供

- ・ 情報交換の場、としては事業体側の課題や今後の展望についても、企業同様のプレゼンや、図表などの説明があれば、さらに一步踏み込むことも可能と思う。この度はお忙しい中、Webでの開催、新しい試みとしてのWebフリーマッチングの実施、誠にありがとうございました。〔民・富山〕
- ・ 参加されている水道事業体の保有する設備概要の情報を予めご提供頂けると、よりターゲットを絞って提案の準備ができるのでありがたい。水道施設（浄水場・配水池・管路等）の更新計画の概要、管路：口径、延長（できれば管種別）、浄配水場：個所数、規模。貯水池：個所数、容量等。〔民・沖縄、山梨〕
- ・ この協議会は、プレゼンテーションや情報提供よりマッチングにより多くの時間を費やすような運営が望ましいと思う。〔民・山梨〕
- ・ 事業体様の情報がもう少し欲しい。〔民・山梨〕

○ディスカッション形式

- ・ 一方的なプレゼンテーションでは無く、官・民それぞれの代表者（希望者）によるディスカッション形式の意見交換会を実施しても良いと考える。〔民・富山〕
- ・ 今回の協議会であれば、「管路DB」や「情報プラットフォーム」等テーマを決めた分科会的なものでのより実務的なプレゼンテーションやフリーマッチングができれば、今以上に効率的な協議会になったのではないかと思われる。水道事業者としては多数ある課題のうち、今一番解決を急がなくてはならない事項や今後早急に取入れたい事項などについて知識を深め、今後の業務に役立てたいと考えている。〔官・北海道〕

○フリーマッチング

- ・ マッチングは今後も継続して欲しい。直接、対面で実施を基本として欲しい（Web会議だと水道事業者側が容易に参加できる≒公民連携事業への本気度が分からなくなる）。〔民・富山〕
- ・ フリーマッチングにおいて民間事業者→水道事業者へアプローチする構成となっているが、水道事業者→民間事業者という構成があっても良いかと思う。〔民・沖縄〕

○民間プレゼンテーション

- ・ 企業のプレゼンはグループ分け（PFI（コンセッション・PPP）・DB（O&M）・第三者委託）を実施し、聴講者が聞きたい所に行き聞けるようにして欲しい（企業側もこれにより持ち時間が長くなることでプレゼンし易くなる）。〔民・富山〕

○動画配信

- ・ 講演の様子をビデオで残して社内で共有しやすい様にして頂ければ活用シーンが増えると思う。〔民・山梨〕

○連絡先の共有

- ・ 事業体側のメールアドレス等連絡先も共有してほしい。〔民・山梨〕

○その他

- ・ 協議会の開催時間が限られていることから現状の運営方法で良いのではないか。〔民・北海道〕
- ・ プレゼンテーションしない参加者も資料提供（参加団体の紹介等）は原則行うのが必要ではないか？（今回は資料提供のみがありました）〔民・北海道〕
- ・ 民間事業者は、後半の民間事業者プレゼンテーションとマッチングのみ参加が良いと思う。〔民・山梨〕
- ・ ウェブ開催ならではの企画として、事業体の地域特性や規模に分類した協議会も有効ではないか。〔民・山梨〕
- ・ 各事業体が抱える課題や興味のある事柄に関するアンケート調査があっても良いと思う。〔民・北海道〕

■ オンライン開催について

○運営方法に対する意見

- ・ Zoom に慣れていなかったせいか、入室に非常に時間がかかった。事前に、要領をもう少し詳しく通知したほうが良かったと感じる。〔民・富山〕
- ・ コロナ禍であり、Web 方式での開催は仕方がないが、会議進行についてはスムーズな進行をお願いしたい。〔民・富山〕
- ・ 事業体側にもう少し気軽に参加頂けるような形式にして頂ければと思う。そのためには旅費等の関係からオンライン開催は有効であると考えているが、ウェブ開催だとコミュニケーションが十分に図れないというジレンマがある。もしかして、フリーマッチング自体は、連絡先の交換等に留めて、それ以降各自に委ねるほうがいいのかもしいかなと思った。〔民・富山〕
- ・ マッチングで、1クール 10 分とのことであったが、ビデオ・音声は 10 分したら突然切れたので、話が途中で終わり、フォローすることもできなかった。時間管理をこちらで行えばよかったが、画面上で経過時間をお互いみえるような仕組みがあればよかった。〔民・富山〕
- ・ 緊急事態宣言の状況下では、現地に行くことは難しかったため、オンライン開催になったのは良かったと思う。フリーマッチングでは参加者 2 名ではなく、その他の担当者も参加出来ると良いと思った。フリーマッチングの時間においてはパワーポイントなどのプレゼン資料を画面共有してプレゼンテーションを行ったが、プレゼンテーション時にフリーマッチングタイマーが見えなくなってしまうため、残り時間が分からなくなり突然終了してしまう場面があった。次回からは、会議室に手持ちのタイマー等を用意して臨むようにするが、主催者様サイドからもそのようなアナウンスを加えて頂けますようお願いしたい。（時間は民間事業者側でも計測し、時間内に終了下さい等のアナウンス）〔民・富山〕
- ・ オンラインのメリットが出ていてよかった。マッチングで割り当てられた民間の方には、得意とする業務がわかるように冒頭に話してほしい。〔官・富山〕
- ・ マッチングの際の不手際が無ければ Web 形式も有効。〔民・富山〕
- ・ システム自体は有効であると思うが、事業体、民間の双方がシステム、Web による開催自体に慣れていない。これは、回数を重ねて馴れて行くしかないと思われる。〔民・富山〕
- ・ プレゼンテーションの事前録画等の検討頂きたいと思う。〔民・富山〕
- ・ フリーマッチングの時間をもっと多くとってもいいと思う。〔民・富山〕
- ・ 今回、様々の制約がある中、開催頂いた。集合形式での会議開催が困難である為、ウェブ開催は事業体の方々と接点を持てる有効な手段のひとつであると感じた。より多くの事業体と交流したく、次回以降、参加者数が増加していくことを期待したい。また、本協議会后、事業体へのフォローやアプローチがしやすいよう、可能な範囲でご協力を頂ければと思う。〔民・富山〕
- ・ 出来るだけ現地方の直接会っての対話を希望するが、現状のコロナ禍での開催については Web 会議方式でよいと考える。Web 会議の入室（参加）方法については招待メールを頂けたら便利であるので検討願いたい。〔民・富山〕
- ・ ウェブ開催ならではの企画として地域に縛られない全国を対象に、リアルでの参加が難しい小規模水道事業体からの参加者をつのるのも方策かと思った。〔民・山梨〕
- ・ 直接顔を合わせ、事業者様の要望に添う内容を模索することが出来る協議会において、カメラ非表示での参加では、本来の目的の達成は難しいと感じた。会場での内容を擬似的に行うことは必須と考える。以上のことから、Web カメラの活用を参加条件（必須）に加えていただきたい。〔民・山梨〕
- ・ オンライン開催をとっても円滑に運営していただきありがたい。特に不満はない。民間事業者のプレゼンテーションをグループに分けられていた為、拝聴出来ない企業もあった。可能であればビデオなど後日、拝聴出来る機会があると有難いと感じた。〔民・山梨〕
- ・ オンライン開催のため、開催会場までの移動時間が無く、良かった。しかし、フリーマッチングの 1 クールで 10 分間の対話時間が設定されていたが、両者の接続完了に 3 分程度の時間が掛かっていたため、実際には長くて 7 分程度と短く、聞きたい内容が聞けなかった。〔官・山梨〕
- ・ 時間通りに進行して頂いていた点は非常に良かった。フリーマッチングが 2～3 水道事業者に限定されてしまったので、時間を増やすことができれば、オンラインでも問題ないかなと思う。〔民・山梨〕
- ・ フリーマッチング時の空き時間中の参加者のために、情報提供等の時間にしてはどうか。〔民・山梨〕

- ・オンライン開催でのフリーマッチングにおいては、制限時間の認識はあったものの、会話に集中してしまい、途中で通信切断になってしまったマッチングが複数あった。最後に挨拶が出来る時間があれば良いと思った。〔官・山梨〕
- ・やはり Web でのフリーマッチングは消化不良気味。1 事業者がもう少し時間をかけられるような工夫に期待。〔民・山梨〕
- ・フリーマッチングに関して、面対と比較するとどうしても会話のやり取りに時間がかかる感があるため、1 回あたりの設定時間を増やして頂きたい（例：10 分⇒15 分など）。事業者の連絡窓口を公開して頂きたい（ウェブ、面対に限らず）。ランダムに面談（名刺交換）する面対の場合と大きな差異は生じないと考える。〔民・山梨〕
- ・時間的な問題があるかと思うが、フリーマッチングでももう少し事業者の方と面談が出来れば良いと思った。〔民・山梨〕
- ・民間事業者のプレゼンの枠では、A、B 枠の移動が系統的に管理されているため、オフラインと比べて気兼ねなく出入りができる点は非常に良かったと思う。フリーマッチングの時間は運営上タイムスケジュールが決められているため、話の途中で終わってしまうことがありその点は残念に思う。〔民・山梨〕
- ・リアルではないので名刺交換ができなかったことから、参加水道事業者（窓口）のメールアドレス等（非公開資料として）配付頂ければよかった。〔民・山梨〕
- ・今後も社会情勢によっては、Web 形式が採用されるケースはあると思われる。本来、名刺交換も協議会での醍醐味の一つと捉えている。以上のことから、名刺の登録及びマッチング時・プレゼン時に表示機能があれば幸いである。〔民・山梨〕

○ポジティブな感想

- ・対面形式での場合と遜色無く、おおかたスムーズに聴講することができた。〔官・富山〕
- ・オンラインであっても聴講しやすく、会議がスムーズに進んだため、オンラインのデメリットがカバーできており、また遠方からであってもその場で聞くことができ、非常に効率的である。また機会があれば、積極的に参加したい。〔官・富山〕
- ・フリーマッチングについては、今回初めての参加で、時間の制約もあり難しかったが、後日、マッチングした民間事業者の訪問予定も入っており、参加した意義はあったと思う。〔官・富山〕
- ・コロナ禍での協議会開催としてはオンライン開催が適切であったと思う。（オンライン開催でなければ参加できなかった。）対面式と比較するコミュニケーションの取り方に若干難しさを感じるが（時々音声途切れる、相槌がわかりにくいなど）、会場まで足を運ばなくてもよいことなどメリットも多いと思うので、引き続きオンライン開催を希望する。〔官・富山〕
- ・昨年度に比べ、フリーマッチングが加わったことにより意義ある場になった。〔民・富山〕
- ・新型コロナウイルスの感染状況が拡大している状況下のため、オンライン開催となったことは当然と感じた。フリーマッチングに関しては、対面の場合と比較して時間配分や資料共有の点で戸惑う場面もあったが、今後もウェブ開催での経験を積んでいくことで、より効率的な方法が見えてくるかと思っている。〔民・山梨〕
- ・オンライン開催であってもプレゼンテーションは問題ないと感じた。〔民・富山〕
- ・オンライン開催になったことでプレゼンテーション、フリーマッチングの進行に支障をきたすと想定していたが、会議運営者様、出席者の皆様のご協力のもと、スムーズに進められたと思う。〔民・富山〕
- ・オンライン開催でなかなか発言は難しい場であるが、工夫して開催して頂いたことに感謝を申し上げたい。〔民・富山〕
- ・皆様と面会が出来なかった事、また今後も全て Web で行う事は寂しいが、講演、プレゼン、フリーマッチングとも全く違和感なく参加できた。素晴らしい運営だったと思う。〔民・富山〕
- ・オンライン開催であるほうが望ましい。〔民・富山〕
- ・移動制限下での開催方式としては非常に有効だった。また、慣れの問題もあると思うので、今後、回数を重ねていった際にはスムーズなやり取りも期待できるものと思う。ただし、時間が短い点が非常に悩ましい。〔民・富山〕
- ・今回、Web 開催によるフリーマッチングが開催されたことは有効だった。今後小規模事業者等現地にリアル協議会に参加できなくても参加できるので良いと思われる。〔民・富山〕
- ・オンライン開催でも十分会議内容が伝わったので、開催会場へ移動する労力およびコロナ感染の終息を迎えるまでは、しばらくの間、オンライン開催でも良いのではと思う。〔民・富山〕

- ・勤務先から移動なく参加できることは業務効率化の面で有難かった。〔民・富山〕
- ・会場までの移動時間等を考慮すると非常に有効的と考える。〔民・富山〕
- ・フリーマッチングのやり方について前回から改善され、よかったかと思う。〔民・山梨〕
- ・オンライン開催は、特に違和感はなかった。〔民・山梨〕
- ・プレゼンテーションや情報提供については、特に支障がないと感じている。フリーマッチングも特に大きな支障はないと感じているが、集合形式の場合はもっと多くの事業者や厚労省担当者等とも名刺交換や意見交換ができるので良いと思う。逆に、対面でないがゆえに聞きやすいこともあったのではないかと思われる。〔官・山梨〕

○ネガティブな感想

- ・十分なマッチング議論が出来なかった。〔官・富山〕
- ・直接対面を希望する。理由としては情報収集のみであれば Web 会議でも十分であるが、マッチング等の対面があるのであれば、直接より有効な手法は無い。また、プレゼンについても同様に聴講者の表情が見えないとプレゼンの効果や質疑も対面に劣る。〔民・富山〕
- ・フリーマッチングでの対話において、Web でかつ 10 分という短い時間だと、事業者の課題について詳細な聞き取りを行うことが難しい。〔民・富山〕
- ・何処からでも参加できることや時間の調整、発表者の発言が聞き取りやすいなどメリットもあるが、直接名刺交換ができない、ニュアンスや表情など微妙な感覚を感じ取りにくいなど、メリット・デメリットがあった。〔民・山梨〕
- ・本推進協議会は事務局の方がおっしゃる通り対面でのフリーマッチングに醍醐味がある。今回に限らず数年の傾向として、水道事業者数に比し民間事業者数がかなり多く Web では不向きに感じた。〔民・山梨〕
- ・やはり音声聞こえづらかったり、うまく進行ができなかったりした際は不便に感じた。〔民・富山〕
- ・数人でのウェブ会議は行っているが、多数での開催は初めてで、なかなか大変だった。民間では当たり前だが、当市ではインターネット環境に制約があり、準備が大変だった。新型コロナウイルス対策や、出張の移動時間がない点はよかった。講演では、参加者の反応がわからず、一方的に話をした感じだった。〔官・富山〕
- ・フリーマッチングが Web 制だったので、自治体によっては顔が見えず、意思の疎通が難しかった。〔民・山梨〕
- ・感染拡大防止の観点から、オンラインでの開催は安心して参加できるものであったが、フリーマッチング時の意見交換などについては効果が薄いように感じた。〔民・山梨〕
- ・新型コロナウイルス対策のために致し方ないが、やはりオンライン開催によるフリーマッチングは無理があると思った。〔官・山梨〕

■ 取り扱うテーマについて

- ・水道事業のデジタル化を主眼としたプレゼンをお願いしたい。（業務の効率化だけでなく、水道 DX という視点から）〔官・富山〕
- ・官民連携も進んできているので、実施済の事業体からよかったことや課題について聞く機会を設けていただきたい。〔民・富山〕
- ・管路維持管理について課題、問題点〔民・富山〕
- ・第三者委託等の官民連携の取り組み事例について、導入の経緯から実施後の経過まで時間を長くにとって説明が聞けるような場がほしい。〔官・北海道〕
- ・各地域の先進事例の紹介を多めにさせていただくと、同様の環境にある事業体や、民間事業者のヒントになると思う。〔民・北海道、沖縄、山梨〕
- ・広域連携との関連で、今後リーダーシップが求められる都道府県の水道担当部署の方に、当該都道府県の課題や、広域連携／官民連携（都道府県ビジョン、広域化推進プラン）の取り組み方針を紹介していただくと、当該都道府県の理解が深まると思う。〔民・北海道、沖縄、山梨〕
- ・今回初めて官民連携推進協議会に参加したこと、現状は官民連携手法についての情報収集を進めている段階であることから、現段階で具体的な提案等はないが、今回の協議会での宜野湾市上下水道局様のような事例紹介が水道事業者等にとって有効な情報になると考えている。様々な官民連携手法（DBM、PFI など）についても導入に至るまでの検討過程、導入スケジュール、導入効果などを事例としてご紹介いただければ大変参考になるものと考えている。〔官・沖縄〕

○参加者について

- ・水道事業者と民間事業者の参加者数に差があり、民間事業者は特にマッチングが難しい状況にあると感じる。より多くの水道事業者が参加してもらい、多くの水道事業者と意見交換が行えるようになるとありがたい。〔民・富山〕
- ・Web開催を前提とし、地域を限定しない開催とすれば、水道事業者の参加も増えるのではないかと。〔民・富山〕
- ・できるだけ参加される全ての事業者の方が、フリーマッチングへ参加していただけるよう働きかけをお願いしたい。〔民・北海道〕
- ・水道事業者への積極的な参加働きかけ。〔民・北海道、沖縄〕
- ・事業者の参加が少ないような気がした。〔民・山梨〕
- ・官側技術職の方の参加についても更に積極的に行っていただけたら、課題解決に向けた技術的な議論も活発にできるのではないかと。〔民・山梨〕

○コロナ対策について

- ・感染防止としては最善であった。〔民・山梨〕
- ・コロナ禍での全国会議は、他府県を跨ぐことになり、まん延防止の規制中は致し方ないものと判断している。〔民・山梨〕

■ 国や都道府県に対する要望

- ・国から、水道事業者の官民連携に関する先進事例の情報を、随時、発信してほしい。〔民・富山〕
- ・国の方針だけではなく、北海道であれば「北海道庁」など主催地元の各都道府県の考え方をプレゼンした方がその地域にあった方向が見えてくるのではないかと。〔民・北海道〕
- ・FS等業務委託の外部発注費用を交付金の対象に含めて頂く事を提言する。〔民・山梨〕
- ・国の方針として、水道の基盤の強化を図るための有効な選択肢の一つとして官民連携の推進が掲げられているが、その第一歩となるDBについてでもなかなか実施するとなると困難な状況である。官民連携を推進するためには、さらなる官民連携の必要性等について様々な角度から国等から後押ししていただき、官民連携の大きな流れを作っていただきたい。〔官・山梨〕
- ・広域化・官民連携が積極的に進むよう国・県には働き掛けを強めて頂きたい。〔民・山梨〕

■ その他

- ・水道事業者の抱えている課題に民間事業者として何ができるのかを今後も検討し、最適なスキーム、手法を提案できればと思う。〔民・富山〕
- ・小規模市町村は職員数の減少で、水道事業の継続そのものが困難になっていると思う。マニュアルはすでに整備されているが、官民連携を支援してくれるアドバイザーや、コンサルタント会社（人、金）の情報が欲しいのではと考える。〔官・富山〕
- ・当市は、ガス協会、水道協会、下水道協会等の研修に参加したほか、各大学の研究者やホームページから情報収集を行った。〔官・富山〕
- ・本協議会への参加を通して、水道事業者の方々が抱える課題やその解決に向けた取り組みの一例に触れ、我々として、もっと積極的に取り組む必要性を感じた。一方で、ご紹介頂いた事業やその内容は、我々のような中規模の企業では、事業規模や範囲の観点から、主体的に取り組むことが難しく、参画に向けては大きな工夫が必要と感じた。今後、我々としても官民連携による事業に注力していきたい考えだが、中小規模の企業が主体的に活躍した事例をご紹介頂けると、より参考になり、本事業形態の裾野が広がるように感じた。〔民・富山〕
- ・他事業者の課題を共有することができて、対応策等について今後の参考にできることもあるかと思う。〔官・北海道〕
- ・水道事業者が抱える課題について、弊社では他者に比べてその解決策を多く有している訳ではないことを自覚している。そのため、水道事業者にとって貴重なフリーマッチングの時間を我々が使ってしまうことを躊躇しており、積極的にマッチングの席に着けない。このような機会を与えて頂いていること大変感謝している半面、我々のような企業がこの機会を有意義なものとするための工夫が何かないか、今後も参加することを通して考えていきたい。〔民・北海道〕
- ・コロナ禍で名刺交換ができなかった事も残念である。これからもこのような機会があれば、ぜひ参加したいと考えている。〔民・山梨〕
- ・水道事業者が官民連携を検討する理由の一つに職員数の減少があり、官民連携を進める為にはFS等業務を外部委託する必要がある。〔民・山梨〕

- ・ 今回の官民連携推進協議会に初めて参加させてもらい大変勉強になった。官民の取組や情報提供、民間のプレゼンテーションと盛り沢山であった。〔民・山梨〕
- ・ 弊社としては、初めて参加である。他企業様と比べ取組が遅れていることも実感出来た。官・民双方の現状や取り組みが把握できた事は有意義だった。今後は弊社としてもプレゼンテーションが行えるような準備を進めていきたいと考えている。〔民・山梨〕

2.2. 総括アンケートについて

2.2.1. 総括アンケートの内容

総括アンケート調査票を以下に示す。

令和3年度 水道分野における官民連携推進協議会
総括アンケート調査票

※ アンケートへのご回答に際しての留意事項

このアンケートは、今年度を実施した官民連携推進協議会に参加した水道事業者・民間事業者・団体等を対象として、協議会や官民連携全般について調査をさせていただくものです。
団体から複数の方が参加された場合は、代表者1名の方から個人としてのご感想等をご回答いただければ結構です。

■ 基本情報

水道行政担当部局		←該当するものいづれかに○を入力して下さい。
水道事業者等※		
民間事業者		
その他		

※ 水道事業者、水道用水供給事業者、工業用水道事業者

団体の名称

--

① 協議会後に、水道事業者等又は民間事業者の方と連絡をとられましたか。

a) 連絡をとった。		←該当するものいづれかに○を入力して下さい
b) 今後、連絡をとる予定がある。		
c) 連絡をとる予定はない。		

①のa)またはb)に「○」をつけられた方はどのような内容について連絡されましたか(する予定ですか)

--

①で「a) 連絡をとった」と回答された方に伺います。何事業者と連絡をとられましたか(大体の数で結構です)。

水道事業者等		事業者
民間事業者		事業者

①で「b) 今後、連絡をとる予定がある」と回答された方に伺います。何事業者と連絡をとる予定ですか(大体の数で結構です)。

水道事業者等		事業者
民間事業者		事業者

①のc)に「○」をつけられた方は、理由をお聞かせ下さい。

--

② 貴事業者が抱える課題解決のために、本協議会で知り合った水道事業者等又は民間事業者の方と今後も情報交換等を継続していきたいと考えますか。

a) 考えている。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) 考えていない。		

③ 本協議会を契機として、官民連携の具体的な取組につながったケース(検討段階も含みます)はありますか。

a) ある。		←該当するものに○を入力して下さい。
b) ない。		

③で「a) ある」と回答された方に伺います(④～⑥)。

④ 何件ありますか。

 件

⑤ それほどのような官民連携手法ですか。当てはまるものに○をつけて下さい。

a) 包括委託	
b) 第三者委託	
c) 指定管理者制度	
d) DB	
e) DBM	
f) DBO	
g) PFI	
h) コンセプション	
i) その他 ※上欄にあてはまらない手法があればご記入ください。	

⑥ 本協議会を契機として官民連携の動きにつながったケースについて、具体的な事業名及び内容を差し支えない範囲でご記入下さい。

⑦ 取組を進めようとしたが、残念ながら官民連携につながらなかったケースはありますか。

a) ある。	
b) ない。	

←該当するものに○を入力して下さい。

⑦で「a) ある」と回答された方に伺います。

⑧ 進まなかった理由について差し支えない範囲でご記入下さい。

⑨ 官民連携ではありませんが、水道事業者同士あるいは民間事業者同士での連携の動きが本協議会を契機に進んだケースがあればご記入下さい。

⑩ 本協議会を官民連携の情報交流の場として、できるだけ有効に活用していただくためには新たなメニュー等を盛り込んでいく必要があると考えています。つきましては、皆様のご提案、ご要望、その他国に対するご意見でも何でも結構ですので、自由にご記入下さい。

2.2.2. 総括アンケートの結果

1) 回答数と回収率

総括アンケートの回答数と回収率を図 2.11 に示す。

4回の協議会の参加団体数は126団体（内訳は、水道事業者が60団体、民間事業者が58団体、その他が8団体）であった。これに対して回答のあった団体数は73団体（内訳は、水道行政部局が3団体、水道事業者が30団体、民間事業者が40団体）であり、回収率は57.9%であった。図 2.1 に示した事後アンケートの回収率（57.4～69.8%）に対して総括アンケートの回収率が最大で11.9ポイント低くなっており、この点は今後の課題と考えられる。

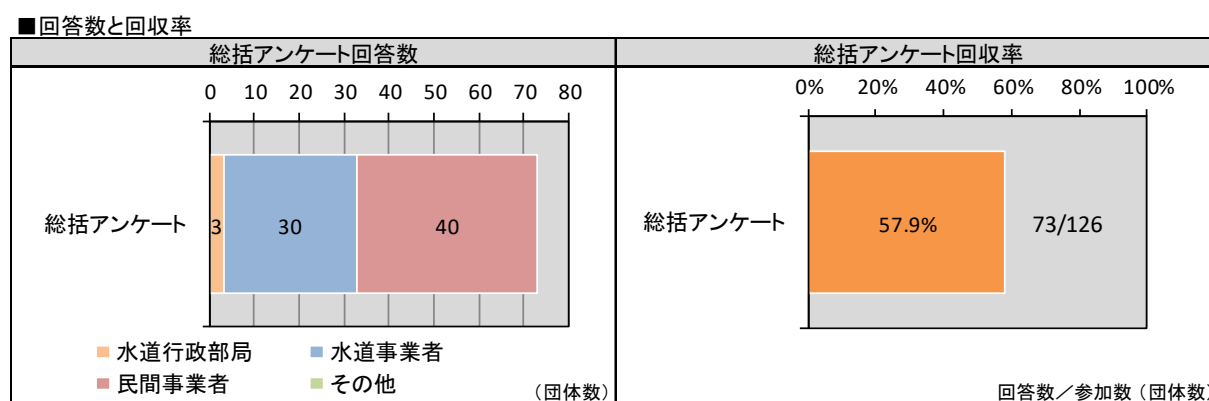


図 2.11 総括アンケートの回答数と回収率

2) 協議会開催日以降の状況について

(1) 協議会後の連絡の有無と連絡の程度

協議会後の連絡の有無を図 2.12、連絡の程度を図 2.13、具体的な連絡の内容及び連絡をとる予定はないとした理由（自由記述）を枠内に示す。

「連絡をとった」が27件、「今後とる予定」が19件、「予定なし」が27件であり、回答者の63.0%が「連絡をとった」または「今後とる予定」としており、協議会への参加が次の展開へのきっかけとなっている様子が伺える。

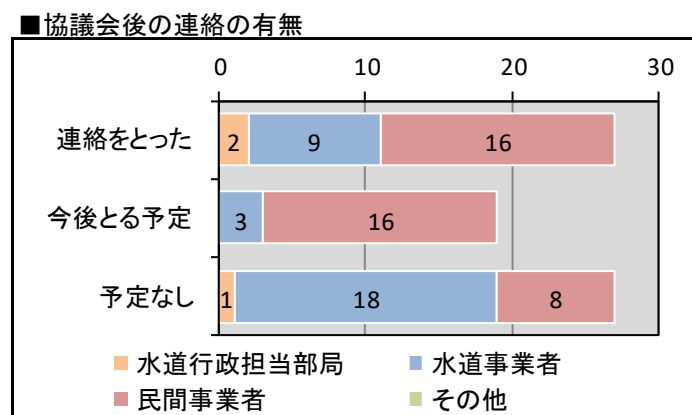
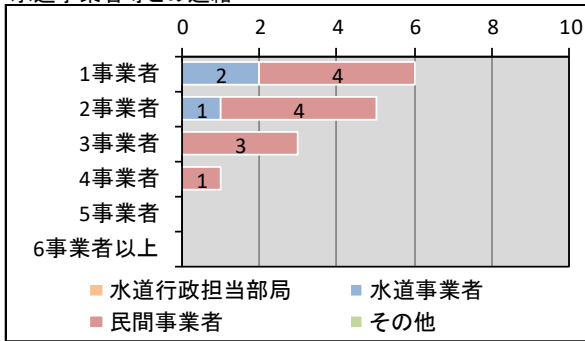
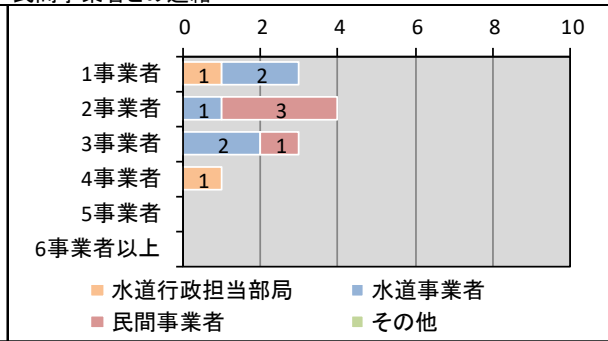


図 2.12 協議会後の連絡の有無

■協議会後の連絡の有無
水道事業者等との連絡

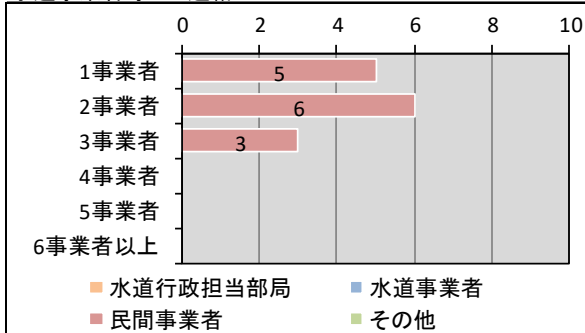


民間事業者との連絡



■今後連絡をとる場合の事業者数(予定)

水道事業者等との連絡



民間事業者との連絡

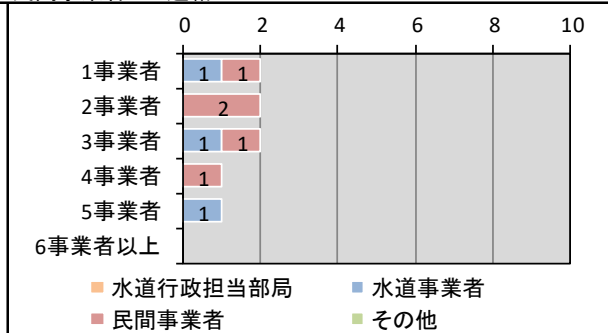


図 2.13 協議会後に行った連絡の程度

【協議会後の連絡に関する自由記述】

■ 具体的な連絡の内容

○水道事業者等

- ・ 事例発表のとおり、4月からの官民連携に向けて新会社と打ち合わせをしている。〔官〕
- ・ 民間事業者の発表事例の詳細について問い合わせ〔官〕
- ・ 製品についての情報提供〔官〕
- ・ 簡易水道事業についての意見交換 等〔官〕
- ・ 当企業団が実施した浄水場更新事業における更新場所の敷地形状や建物の床面積等について問い合わせがあり、情報提供を行った。〔官〕
- ・ 料金徴収及び維持管理業務の包括委託について〔官〕
- ・ 管路DB方式による管路整備〔官〕
- ・ 問い合わせのあった事項について、庁内の担当部署に話をつないで担当者を紹介した〔官〕
- ・ 今回ご相談させていただいた本市の取り組みに関しての事業の展開の可能性や民間メーカーの提言など。〔官〕
- ・ 水道標準プラットフォーム導入に関する事項〔官〕
- ・ 官民連携推進協議会のフリーマッチングにおいて、弊局の挙げた課題に合致すると思われるPFI事業の事例紹介を依頼していたため、先方から連絡があり、その事例に関するご説明いただいた上で情報交換を行った。〔官〕
- ・ 民間事業者が提供するサービスの内容について詳細に説明をうけるため連絡した。〔官〕
- ・ フリーマッチング時に時間の都合で聞けなかった内容（事前に提出した水道事業者の課題一覧）について、確認をした。〔官〕
- ・ 包括委託業務の進め方について。〔官〕

○民間事業者

- ・漏水調査について相談があり、急ぎの案件ではないことから、新型コロナの感染状況が落ち着いてから訪問することを考えている。〔民〕
- ・時機を見て、水道事業者様の課題に対するご意見交換、ご提案等を実施できればと考えている。〔民〕
- ・フリーマッチングの際に即答できなかった課題の回答や、Web の 10 分間でご説明出来なかった点について後日説明の機会を頂くために連絡をとった。また、開催地の遠方から参加された事業者様には後日その地区の担当営業から改めてご挨拶させて頂いた。〔民〕
- ・将来的に実施を検討されている更新事業に関する情報交換や製品 PR 〔民〕
- ・管路整備に係る官民連携について〔民〕
- ・弊社商品（設備）について、ご訪問をさせて頂き、再度 PR をさせて頂くお約束を頂いていた。〔民〕
- ・当社事業内容の受託事例紹介と包括民間委託の提案〔民〕
- ・①フリーマッチングの際に自社製品・工法を PR したところ、見積を含め詳細な資料提供の依頼を受けた為、訪問日を連絡した。②民間事業者と官民連携や広域連携に関する意見交換や DB 案件などの情報収集で連絡を行った。〔民〕
- ・管路 DB 方式について〔民〕
- ・今後の民間委託の方針に関してご教示いただいた。〔民〕
- ・第4回のフリーマッチングにおいて、各クールが 10 分間と大変短く、リクエストのあった水道事業者に対して正確に説明ができなかった事をお詫びするとともに、再度の説明機会を申し入れた。〔民〕
- ・今後の事業計画や協議会出席の感想をヒアリング〔民〕
- ・浄水場の更新計画について〔民〕
- ・管路 DB 導入を検討されている水道事業者向け、実績、経験をもとにした個別の勉強会開催〔民〕
- ・指定管理者制度〔民〕
- ・フリーマッチングの御礼とご訪問依頼〔民〕
- ・3 件のマッチング先のうち 2 自治体に対し、再度弊社の事業紹介と具体的課題について意見交換を行いたく、アポを取ってみようと考えている。〔民〕
- ・管路 DB 等についてご紹介予定。〔民〕
- ・改めて打ち合わせをお願いするため。〔民〕
- ・検討されている官民連携の事業範囲についておうかがいする。〔民〕
- ・業務拡大についての相談〔民〕
- ・Web 開催においてマッチング途中で時間切れとなってしまった。当社概要の説明と事業者の状況を継続して確認させていただいた。〔民〕
- ・中長期的な観点での、今後の水道広域化の計画等について情報確認をさせて頂いた。〔民〕
- ・連絡予定先の水道事業者が抱える課題の深堀りと、関心を持たれている官民連携手法について改めてヒアリングおよびご提案等を行う予定がある。
- ・先方は DB 手法に関心を持たれているケースが多いと感じている。〔民〕
- ・フリーマッチング後の追加打合せの日程調整をご連絡した。〔民〕
- ・補強金具を用いた管路の延命措置による館員連携〔民〕
- ・水道施設の小水力発電の導入に係る相談〔民〕
- ・該当するパンフレットなどを持参し説明をする予定。〔民〕

■「連絡をとる予定はない」とする理由

○水道事業者等

- ・民間事業者側から新しい商品の紹介がくることとなっているため、こちらから連絡する予定はないため。〔官〕
- ・水道行政担当部局であり、水道事業者等ではないため。〔官〕
- ・本市水道局では、業務合理化のための委託化がほぼ完了しており、現在のところ経営や大きな責任に関わるコア業務や準コア業務と呼ばれる業務の委託化予定がないため。しかし、将来はヒト、モノ、カネの確保が困難となる状況から、ICT、DX の利活用とともに外殻団体や民間事業者による準コア業務の委託化も必要になると予想される。引き続き官民連携推進協議会等を通じてお互い情報交換する関係性はもつべきと考える。〔官〕

- ・具体的に連携を検討している事項はなく、今後の検討に当たっての情報収集を目的に協議会に参加した。協議会の場で目的を達することができたと考えており、改めて連絡をとる予定はない。〔官〕
- ・今年度、現在の部署に配属になり、官民連携について学びたいと思って参加させていただいたので、まだ事業者さんとお話ができるほどこちら側の準備ができていない。〔官〕
- ・連絡をとり、相談等をする課題点を整理しきれていないため。〔官〕
- ・参加していた民間事業者が、営業に来たから。〔官〕
- ・今回は国の動向、民間事業者の最新技術等の情報収集を目的として参加したため。〔官〕
- ・現段階で具体的に官民連携を検討している訳ではありません。〔官〕
- ・特段連絡を取るべき理由が無かったため。〔官〕
- ・具体的な予定が現時点ではないため。〔官〕
- ・現時点で相談する課題が整理されていないため。〔官〕
- ・いくつか気になる提案、説明があったが、現在それらに時間を割く余裕が当方に無い。〔官〕
- ・更新需要の増大や、人員不足など様々な課題はあるが、現段階では、本協議会などの機会に概括的な情報を収集するにとどまっており、具体的な検討に至った折に個別に連絡を取りたいと考えている。〔官〕
- ・本市の現状において魅力的な連携を見出せなかったため。〔官〕
- ・すでに官民連携手法で事業を実施しているため。〔官〕

○民間事業者

- ・フリーマッチングで対話した水道事業者が求める事業者と、当社の業務が少し離れていたため。具体的には、当社はコンサルティング業務として官民連携支援を行っていくことが主だが、実際に受託者として官民連携を進めていく業者を求めている。〔民〕
- ・当社は水道事業を専門に取り扱うコンサルではなく、ご出席された水道事業者、民間事業者の皆様へのニーズに合致するご支援をさせていただくのが難しいと思われるため。〔民〕
- ・会話させて頂いた自治体様のご連絡先（メールアドレス等）が分からないため。〔民〕
- ・水道事業者、民間事業者共に弊社の業種に合った問題がなかったこともあり、今回は連絡をとる予定がない。〔民〕
- ・水道事業者がもつ課題に対し、当社が得意とする分野での課題解決(技術)提案が困難と感じたため。〔民〕
- ・事業活動エリア外のため。〔民〕
- ・水道関係団体として行政や水道事業体のニーズに寄り添った団体活動に反映させるために参加しており、個別の水道事業者にはこちらからは連絡を取る予定はない。水道事業者から連絡があれば適切に対応させて頂きたい。〔民〕

(2) 情報交換等の継続に対する意思

情報交換等の継続に対する意思を図 2.14 に示す。回答者の 86.6%が「考えている」と回答しており、官民相互の情報交換に対するニーズは大きいことが分かる。

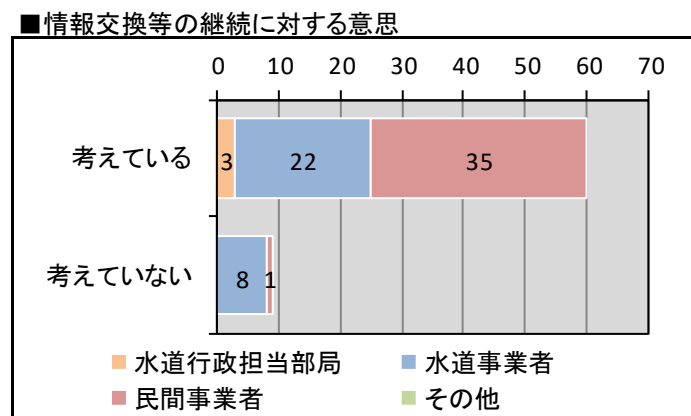


図 2.14 情報交換等の継続に対する意思

3) 本協議会を契機とする官民連携の具体的な取り組み

(1) 取り組みの有無と具体的内容

本協議会を契機とする官民連携の具体的な取り組みの有無と件数を図 2.15、該当する官民連携手法を図 2.16、具体的内容（自由記述）を枠内に示す。具体的な取り組みにつながったという回答数は9件となっている。

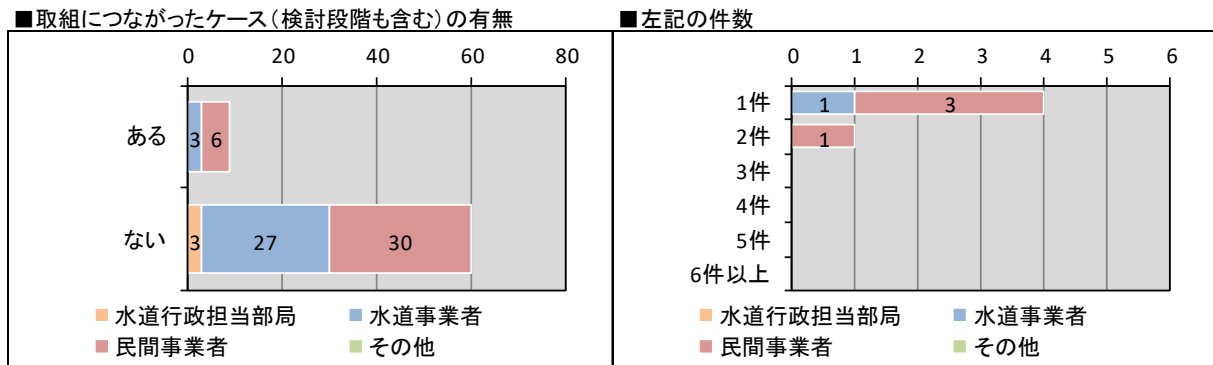


図 2.15 本協議会を契機とする官民連携の具体的な取り組みの有無と件数

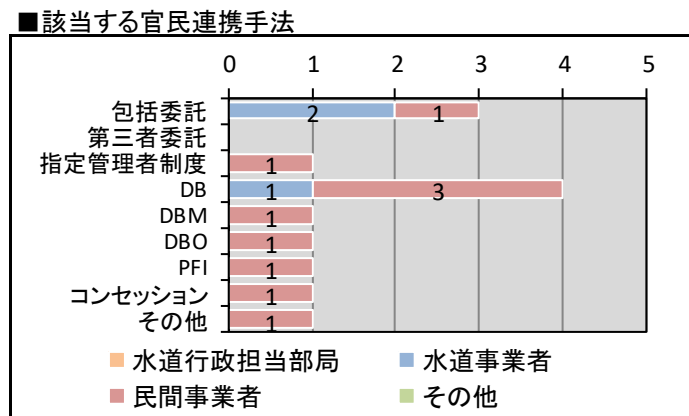


図 2.16 該当する官民連携手法

【官民連携の取り組みに関する自由記述】

○水道事業者等

- ・ 妙高市ガス事業譲渡及び、上下水道事業包括的民間委託契約の実施に向けて、調整中。今後、国土交通省下水道課が主催する、PPP/PFI 検討会で事例発表する予定。〔官〕
- ・ 具体的な官民連携の動きではないが、令和4年度から包括委託の検討を進めている予定である。〔官〕
- ・ まだ打合せをしていないため、今後連携について協議していく。〔官〕

○民間事業者

- ・ 今年度から参加させて頂いており、まだ具体的な事業は無いが、事業体様の課題における弊社製品のご提案はさせて頂いている。〔民〕
- ・ 水道料金徴収業務委託 〔民〕
- ・ 大阪市水道 PFI 管路更新事業他。官民連携推進協議会を契機に官民連携の重要性を感じ、会社としてそれらの事業へ関心を持って取り組みを強化するきっかけとなった。〔民〕
- ・ 広域化できない小規模集落の水源井戸が近年枯渇傾向にあるので、新水源調査の依頼を受け、提案を継続している。〔民〕

(2) 官民連携につながらなかった事例の有無

官民連携につながらなかった事例の有無を図 2.17、その理由（自由記述）を枠内に示す。

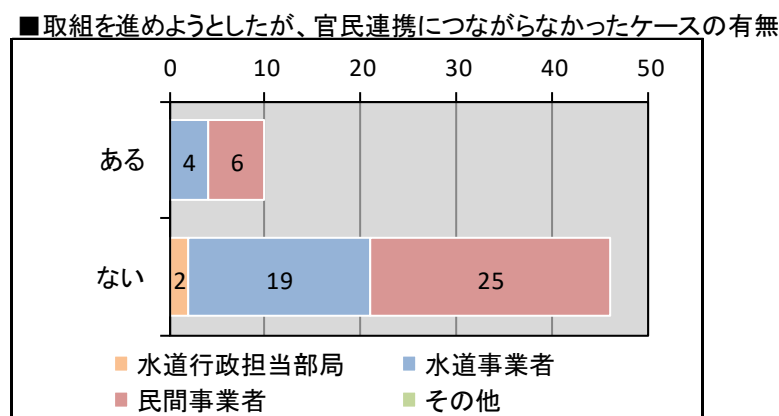


図 2.17 官民連携につながらなかった事例の有無

【官民連携につながらなかった理由に関する自由記述】

○水道事業者等

- ・実施した場合の定量的な効果が見込めなかったため。〔官〕
- ・官民連携を想定している事業が、情報収集の段階であったため。〔官〕
- ・浄水場の電気・機械設備等の更新事業について検討を実施したが、DBO 及び PFI 方式共に VFM が得られず、事業費の削減効果が見込めなかったことから、従来方式の個別委託により実施することとした。〔官〕
- ・マッチングの相手が当方の希望に沿っていなかったため。〔官〕

○民間事業者

- ・事業体様の中には現状お困りの課題はないが、参考のため参加されたという方もいらっしゃった。〔民〕
- ・取り組めるまでにいたらなかった。〔民〕
- ・当該事業体における人事政策のタイミングや費用対効果の面での不一致〔民〕
- ・提案段階〔民〕
- ・アポイント取得ができなかった。〔民〕
- ・事業体内、事業体内業者等での調整不足。〔民〕
- ・水道事業者から要求される課題には重要な位置づけにされている管路更新関連が多く、当社で提供可能な技術内容がマッチさせることができず、進めることができないケースがあった。〔民〕

(3) 水道事業者間や民間事業者間での連携の動き

本協議会への参加を契機として、水道事業者同士あるいは民間事業者同士での連携の動きにつながった事例（自由記述）を枠内に示す。

【水道事業者間や民間事業者間での連携の動きに関する自由記述】

■水道事業者

- ・特になし。

■民間事業者

- ・まだ具体的な事業例はないが、実地開催の際は各社様の PPP 関連担当者様にご挨拶させて頂いており、情報交換は進めていく所存である。〔民〕

- ・ 民間事業者間において、お互いの得意分野を活かす取り組みを想定して交流を図っている。〔民〕
- ・ 協議会に参加している者同士ということで、電機・計装系の会社との連携が深まった。〔民〕
- ・ 特にはない。〔民〕
- ・ 本協議会を契機に、PPPに取り組んでいる各社と交流を持つ事が出来て仕事に繋がったケースがある。※詳細は、企業間の秘密保持契約の関係もあり差し控える。〔民〕
- ・ 特になし。〔民〕
- ・ 本協議会の話題で情報交換が出来るようになった。〔民〕
- ・ 災害時にも対応可能な可搬型急速ろ過装置を活用した浄水場の提案。〔民〕

4) 協議会全般に対する自由意見

協議会全般に対する自由意見を枠内に示す。

【協議会全般に対する自由意見】

■ 協議会の進め方について

○コンテンツ・プログラムへの要望等

- ・ 「管路 DB」や「情報プラットフォーム」等テーマを決めた分科会的なものより、実務的なプレゼンテーションやフリーマッチングができれば、今以上に効率的な協議会に出来るのではないかと考える。水道事業者としては多数ある課題のうち、今一番解決を急がなくてはならない事項や、今後早急に取り入れたい事項などについて知識を深め、今後の業務に役立てたいと考えている。〔官〕
- ・ 民間事業者にはスケールメリットも必要である。そのため、近隣の小規模水道事業者が課題を共有し、共通の課題を通して連携することも必要だと思われる。そこで、地域毎あるいはキーワードでグループ分けをして、ワークショップを実施してみるのも面白いと思う。〔民〕
- ・ 官民連携を実現させた事例紹介。（構想～契約）〔民〕
- ・ 民間事業者としては、多くの水道事業者様と意見交換ができる場として大変有意義と感じている。ついては、より多くの水道事業者様とコンタクトがとれるような構成・時間割にさせていただいたら大変ありがたく思う。各エリアの方が一同に集まるせつかくの場なので、こうした機会を最大限に有効活用できたらと考える。〔民〕
- ・ 官民連携を適用した事業は、主に人員削減や経営効率を図る目的で実施される事務系と、設備および管路の耐震化や維持管理の効率を図る目的で実施される技術系の2通りがあるため各々分類分けをした上での推進協議会を実施頂けたら幸いである。そうすることで事業体側も民間側も内容を絞った上での出席者の選定や聴講が可能となり、官民連携の推進に寄与するものと考えられる。〔民〕
- ・ 水道事業体とのマッチング時間が少ないので複数の水道事業体との意見交換ができない。参加企業等のプレゼンテーションについては事前配布の資料で確認できるので、プレゼンテーションは水道事業体のみとして、マッチング時間を増やしては如何か。〔民〕
- ・ 民間事業者は、ほぼ毎回同じような出席者かと思われるので、プレゼンテーションと情報提供は開催地区の水道事業体のみを対象にし、民間事業者は、その後に参加とマッチングに時間を多く取って頂いたほうが、具体的な官民連携に繋がるケースが多くなるかと思う。〔民〕
- ・ できるだけ参加される全ての事業者の方が、フリーマッチングへ参加していただけるようなプログラム作成をお願いしたい。〔民〕
- ・ 民間事業者のプレゼンテーションは事前録画（事前の拝聴可）にするなど、民間事業者はマッチングをメインにさせていただきもう少し時間を確保していただければと思う。長時間の拘束回避を検討いただければと思う。〔民〕
- ・ 民間事業者のプレゼン時間が短く感じたので、少しでも民間事業者のアピールできる時間がとれることを希望。〔民〕
- ・ 前半のプレゼンテーション、情報提供は事業体のみ参加で良いと思う。〔民〕

- ・フリーマッチングに参加させていただいた際に、一部の事業者において、課題における事前の問題点の整理や官民連携の基本的な考え方として、「連携」するためにはお互いにメリットを得ることができるスキームが必要であるというような前提が整っていないように感じた。小規模事業者においては、民間事業者との連携を図りたいという需要は多いものの、職員が少ないためこうした会議に参加できず、情報不足に陥っているのではないかと。〔民〕
- ・水道事業者から、水道事業における補助金はあるのか、どのようなものか、何が対象になるのか等、問い合わせがある。そういった事例紹介をして頂けると会話の幅が広がり新たな課題も見つかると思う。また、中小規模の水道事業者が得ることができる補助金の種類を増やしてほしい要望である。事業費用の捻出ができず民間が提案しても更新等の事業に足踏みするケースもある。〔民〕
- ・課題別の実施事例を整理紹介し、事業者において問題解決の手がかりがあることを提案する。興味がある事業内容について事前にヒアリングし、民間事業者とのマッチングを促進する。〔民〕

○フリーマッチングに対する要望等

- ・フリーマッチングの改善。希望する民間事業者のみにして頂きたい（希望しない民間事業者との対話時に、お互いに質問する事が無く、会話が続かなかつたため）。〔官〕
- ・1社との時間が短く、こちらから質問する時間がほぼ取れなかつたため、事前に予約制にするなど1社との時間を長くし、お互いに質疑できるような方法を検討してほしい。〔官〕
- ・フリーマッチングについて、民間事業者各社の取組事例等紹介する場であることは理解するが、事業者側にも各々の事情に応じた情報収集の機会とするため、一定程度選択可能な方法を採用していただきたい。〔官〕
- ・課題として、官民連携ではなく、広域化による対応をご検討されている水道管理者様もいらつしたため、粗い粒度でもよいのでニーズに応じてカテゴリズして、マッチングを行った方がより効率的かと考えた。〔民〕
- ・水道事業者とのマッチング時間が少ないので複数の水道事業者との意見交換ができない。参加企業等のプレゼンテーションについては事前配布の資料で確認できるので、プレゼンテーションは水道事業者のみとして、マッチング時間を増やしては如何か。〔民〕
- ・民間企業のプレゼンをやめてマッチングの時間を増やしてほしい。〔民〕
- ・まず、メインイベントであるフリーマッチングの時間配分が大変短く、双方の意思疎通が確認できないまま打ち切られていた。これでは、折角のマッチングタイムが不十分であり、半日で多くのメニューを詰め込み過ぎている感がある。フリーマッチングの各クールは最低20分程度必要かと考えている。〔民〕
- ・フリーマッチングの方法を検討した方が良いと感じた。空席の水道事業者の席があり、1事業体に長居する会社が目立った。〔民〕

○水道事業者の課題調査票

- ・水道事業者の課題に関する情報について、自由記述形式のみだと民間事業者には本質が伝わりにくいケースもあると思う。「プレゼン概要調査票」にある”業務内容分類表”と近い形の分類表があれば、水道事業者側の課題の整理に役立つのではないかと。〔民〕

■ 開催方法について（現地開催を希望）

- ・折角意見交換の場を用意していただいたのに、新型コロナの感染拡大防止のため、対面でのマッチングが出来なかつた。やはり、画面を通しての意見交換ではこちらの資料を見てもらいながらニュアンスなども理解することが難しいと感じた。来年度は是非対面での意見交換を行いたいので再度参加したいと考えている。〔官〕
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン開催は仕方ないが、民間事業者として官民連携推進協議会で大きなメリットになっているのは、フリーマッチングなどで直接水道事業者の考えを聞いて対話出来ることやPPP事業に取り組んでいる関係各社と交流が出来たりする事である。新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いた際には、会場での開催に是非戻して頂きたいと思う。〔民〕

■ 会場について

- ・会場での開催の場合には広い場所での開催を希望する。〔民〕

■ オンライン開催について

- ・ 今後もオンライン形式による開催を継続していただくよう希望する。〔官〕
- ・ 新たなメニューは特に思いつくご提案はできないが、今年度はコロナ禍の影響もあるかと思うが、参加する水道事業者の数が少ない印象があった。Webでの開催は参加しやすく効果的と思う。〔民〕
- ・ 小規模水道事業者対象のWeb版の本協議会の開催も有効ではないか。〔民〕
- ・ 今後もオンライン開催の可能性、需要はゼロではないと思う。その場合、限定的なコミュニケーションとならざるをえず、また、物理的な名刺交換も困難である等、継続的にやりとりをする上ではデメリットも多いかと思う。より有意義な協議会とするため、可能な範囲で、この点についても何らかし当ていただければ幸いです。〔民〕

■ 参加者について

- ・ 弊社は今年度から参加したばかりであり、今後とも参加させて頂きたい。第4回協議会では主催者様から再三「官民の参加数のバランスが取れていない」とのお話があった。今後もより多くの事業者様に参加頂ければ幸いである。〔民〕
- ・ 上水道関係の事業者だけでなく、より広い業種の事業者が参加するようになると良いと思う。〔民〕

■ 協議会への期待・ポジティブな感想

- ・ 広域化・官民連携は国の旗振りとおりに進んでいる風にはみえない。もっと活発化すれば水道事業者様の悩み事は数多く具現化されるはずである。そこにWin-Winが叶うきっかけづくりの場として本協議会が在ることを望む。〔民〕
- ・ 最新の官民連携のケース等は大変参考になるため、引き続きお願いできればと思う。〔民〕
- ・ コロナ禍で運営の皆様におかれましては多々のご苦労があったかと思うが、1年間通じての開催を頂きありがたい。〔民〕
- ・ 民間事業者と事業者の両者からフリーマッチングの希望をとっていただいたことは良いと思った。〔民〕

■ 国に対する要望

- ・ 国への要望としては、現在補助金をいただいている事業が基幹管路までなので、配水支管についても同程度の補助がいただけると積極的な管路更新に繋がっていくと考えている。〔官〕
- ・ 継続的に協議会が開催されることはたいへん良いことであり、継続的な取組が行われることを望む。一方で形骸的に続けるのではなく、官民双方でアップデートされた各成果を持ち寄ることが必要では無いかと感じた。さらに、全国的な成果、または成果に至る経過等の知見を広く共有できる場も必要であると考えている。また、国や都道府県においてはこのようなマッチングに関して、自治体任せにせず積極的に関与できる仕組みの構築が必要であると感じた。〔民〕

■ その他

- ・ 定期的な協議会の開催のほかにSNSなどを活用した意見交換の場の設定を希望する。かしこまった会議形式では、時間の制約、形式的な意見にとどまることや企業側も営業行為の参加にとどまるような気がする。より現場に近いレベルでの話し合いができるよう、SNSなどを活用した意見交換プラットフォームの常設はいかがか。特に若い職員や小規模事業者などの切実な思いが生まれやすいと想定される。当然SNSでの合意点そのまま事業展開に結びつくものではないが、合意点を協議会の場で全体共有していく→個別の協議→取り組み立ち上げといった手法も効果的か考える。〔官〕
- ・ どの水道事業者の課題も老朽化対策をどうするか、人口減少に伴う浄水規模の見直し等以外に、事業費縮小の中でDBをどう活用したか、活用するかにも関心があるようにも思われた。〔民〕
- ・ 面談出来た水道事業者は浄水場内設備について、災害リスクに備える上でも更新の必要性は認識されているが、財政難により当面は現状維持していく印象を受けた。〔民〕
- ・ 各県単位で行っている統合計画向けの情報交流の場があるとよいように思う。〔民〕
- ・ 人口減及び水道料金収入減、上下水道事業経営基盤強化、DX化などを目的に、水道スマートメーターの事業は、国の政策とすべきではないか。スマートメーター化は大規模事業者以外、地方自治体の財政力では難しく、一向に事業化しないと考えられる。〔民〕

3. 今後の協議会開催に向けた留意事項

事後アンケートと総括アンケートで寄せられた意見を基に、次年度以降に協議会を開催する上で留意すべき事項を以下に述べる。

3.1. 参加者について

今年度を実施した4回の協議会の出席者数は469名であり、その内訳は水道事業者等が113名、民間事業者が336名、その他団体が20名であった(表 1.1)。

官民連携に関する情報交流の場として協議会を有効に活用するためには、官民ともに多くの参加者の出席が望ましいが、会場の収容人数の制約があったため、現地開催の場合は民間事業者の参加者を1社当たり2名とした。

アンケートによると、水道事業者の参加が少ないという意見があり、特にオンライン開催の場合は民間事業者がフリーマッチングに参加する機会が少なかった。このため、水道事業者の参加をさらに促すといった工夫が必要と考えられる。

以上のことを踏まえ、水道事業者の参加を促進するため、厚生労働省や都道府県の水道行政担当部局から積極的に働きかけることが必要と考えられる。

3.2. 民間事業者によるプレゼンテーションについて

今年度も昨年度に引き続き、民間事業者によるプレゼンテーションを行った。これは官民連携に関する自社の取組みをPRするものである。発表を希望する民間事業者が多数あったため、2グループに分けて1社当たり5分間の持ち時間で発表を行い、参加者は興味のある民間事業者の発表を自由に聴講する方式とした。

アンケートによると、多くのプレゼンを聴くことができたという前向きな意見もあったが、現地開催(第2回と第3回)では、会場が狭くマイク音が重複してしまい聴き取りにくい、聴きたい企業の発表のスケジュールが重なり聞けなかった、別々の部屋で行ってほしいなどといった意見があった。

3.3. オンライン開催について

今年度を実施した協議会の大きな特徴として、第1回と第4回はオンライン開催となったことが挙げられる。この方式について、コロナ禍の状況の下ではやむを得ない、移動時間やコスト削減になるため開催方法の選択肢の一つとして有効、遠方からでも参加しやすいなど、オンライン開催を前向きに捉える意見が見られた。一方、第1回では接続障害が発生したため、マッチングの相手と十分な対話ができずに残念だったとの感想が寄せられた。その経験を踏まえ、第4回では操作マニュアルを配付し、事前の接続テストで周知することにより、入室漏れや接続トラブルはなく、無事にフリーマッチングを行うことができた。

3.4. 新型コロナウイルス感染症対策について

現地開催とした第2回と第3回では、新型コロナウイルス感染症対策として以下に挙げる様々な対策を講じた。

- ・ マスク着用の徹底
- ・ 咳エチケットの徹底
- ・ 受付入場時の検温
- ・ 高熱等の症状がある場合の参加お断りの周知（37.5℃以上）
- ・ 手指消毒
- ・ 常時換気（扉・窓の開閉）
- ・ 机及びイスの離隔の確保
- ・ 机及びイスの消毒
- ・ フリーマッチング時の折り畳み式クリアパーテーション設置（机2台につき2枚）